

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	岩国市立岩国学校教育資料館所蔵和古書分類目録 : 「文書類」資料の部
Author(s)	妹尾, 好信
Citation	内海文化研究紀要 , 50 : 25 - 62
Issue Date	2022-03-31
DOI	
Self DOI	10.15027/52333
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00052333
Right	Copyright (c) 2022 by Author
Relation	



岩国市立岩国学校教育資料館所蔵和古書分類目録

一 「文書類」資料の部一

妹尾好信

吉川氏6万石の城下町である山口県岩国市には、多くの古典籍が伝存している。吉川家伝来の宝物と言うべき貴重な古典籍は、財団法人吉川報効会が運営する吉川史料館に所蔵されており、すでに山口県教育委員会により詳しい調査が行なわれ、目録も作成されている。それとは別に、吉川家が所蔵していた膨大な数の写本・版本などは、戦後、岩国市立岩国徴古館に寄贈され、同館所蔵の和古書の基幹を成している。平成になって同館により『吉川家寄贈図書類目録』が刊行されて、大まかな分類と簡略な書誌情報ながら、その全貌が知られることになった。岩国徴古館には、吉川家寄贈本の他に、独自に収集・受贈した和古書類もあって、それらは『岩国徴古館資料目録』に収録されている。一方、明治初期に開設された岩国図書館の流れを汲む岩国市中央図書館にも、在地の旧家や名士から寄贈された和古書が約1500点所蔵されている。

筆者は、ここ10年ほど、日本学術振興会の科学研究費補助金を得て、岩国市に伝存する和漢古典籍の悉皆調査を行ってきた。岩国市中央図書館所蔵の和古書については、同館の分類によるNDC番号に基づいて暫定的な分類目録「岩国市中央図書館所蔵和装図書目録稿」を作成し、本誌に6回に分けて掲載した。岩国徴古館が所蔵する吉川家寄贈図書類と徴古館資料の中の古典籍については、同館のウェブサイト上の「収蔵資料検索システム」に掲げられたデータに追加書き込みする形で書誌情報の充実を図った。同館所蔵の古典籍は、二つのコレクションを合わせて約3500点なので、中央図書館の和装図書と合わせると約5000点になる。

その他に、岩国小学校に隣接して設置された市立岩国学校教育資料館にも、江戸時代後期に寺子屋で使用されていた往来物の類から近代の学校教科書を多数所蔵しており、その一部は常時展示されている。明治中期以前の学校教科書は和装本であり、検定教科書が使用される以前は、明治初期に刊行された啓蒙書や翻訳書が教科書として使われていたので、教科書資料の中にも多数の古典籍が含まれている。筆者は同資料館の協力を得て、1階の展示室に並べられている資料と2階の収蔵庫に保管されている「教科書」資料400余点を調査して、本誌前号に分類目録を掲載した。

ところが、同資料館所蔵の古典籍はそれだけではなく、別棟の収蔵庫（倉庫）に保管されている「文書類」と名付けられた資料群の中にも多数の写本や版本が存在することがわかった。「文書類」という括り名から歴史資料としての古文書の類を想像していたのだが、実際は漢籍も含んだ和古書がまとめて保存されているのであった。近代の学校教科書は含まないが、往来物の類はそこにも存在する。ほとんどが市民から寄贈されたもので、受け入れスタンプには寄贈者名も記されている。中でも、郷土史家で『岩国市史』の編纂にも中心的に関わった故大岡昇氏の旧蔵書が目立っている。「大岡蔵書」印が捺されていたり、裏表紙などに「大岡」と書き入れがある本は大岡氏の旧蔵本である。その他、蔵書印や書き入れから知られる旧蔵者は実に多士済々であり、旧岩国藩の人々の教養や文化程度の高さを実感することができる貴重なコレクションと言えるのである。

〔凡 例〕

1. 本目録は、岩国市立岩国学校教育資料館が所蔵する和古書の目録である。ここには、同館が「文書類」に分類し、別棟の第一収蔵庫に保管している資料群の中の和古書を掲載する。
2. 和古書には、江戸後期から明治30年代頃までに書写・刊行された写本・版本（木版本）の他、それ以後に出版された和装活字本も含まれている。まれには中国で刊行された本も存する。
3. 全体を「国書の部」と「漢籍・準漢籍の部」に大別し、国書は「総記」「漢学」「神祇・祭礼」「仏教」「言語」「文学」「音楽・演劇」「歴史」「地理」「政治・法制」「経済」「教育」「植物」「医学」「産業」「芸術」「諸芸」「武学・武術」の18項目に分類し、適宜小分類した。漢籍・準漢籍は基本的に四庫全書の分類に従って「経部」「史部」「子部」「集部」に部類し、適宜小分類した。
4. 以下、概ね次の順序で書誌的事項を記した。
 - ①**通し番号** 本目録の掲載順に3桁の通し番号を付した。
 - ②**書名** 書名は、外題によることを原則とした。題簽の剥落や汚損などのため外題が判読できない場合は、適宜内題や柱刻などにより、その旨を備考に記した。書名はゴシック活字で示した。漢字の字体は当該本の表記を尊重したが、現行の字体に直した場合もある。書名に角書がある場合は書名の前に〔 〕に入れてやや小字で示した。また、書名の下や肩に添えられた小字は〈 〉に入れてやや小字で示したことがある。書名に振り仮名がある場合は（ ）に入れて示した。
 - ③**編著者** 著作者・編纂者・原著者・訳者・校訂者などの名を示した。不明の場合は記さない。
 - ④**書型** 本の大きさ（型）を「大」（大本）・「半」（半紙本）・「中」（中本）・「小」（小本）・「横」（横本）・「袖珍本」の別でおおまかに示した。
 - ⑤**冊数** 当該本の冊数を示した。欠巻があったり合綴されたりしている場合も現状の冊数を記し、欠巻や合綴の状況は備考に示した。
 - ⑥**刊行・書写年** 刊本については刊年、写本については書写年を示した。不明の場合は記さない。
 - ⑦**版元・書写者** 刊本については版元（書肆名）、写本については書写者名を示した。書肆の所在地がわかる場合はそれも示し、「板」「梓」など版元を示す記載はそれを添えて記した。
 - ⑧**保存状態** 保存状態に問題がある場合には「虫損」「少虫」「破」「汚」「疲」のように示した。
 - ⑨**備考** *印を付して、その他の情報を適宜記した。残存状況、序跋者、書入の有無、初版刊行年、旧蔵者の印、別書名などの情報である。引用中の/印は原文改行を示す。写本の場合は備考に「写本」と記し、刊本の場合は記さない。また、装丁に関して、仮綴・折本など特殊な装丁の場合はここに記し、通常の袋綴の場合は記さない。欠損文字は□で示した。
 - ⑩**資料番号** 末尾に、学校教育資料館が当該資料に付した資料番号を〔 〕に入れて示した。ただし、もとの資料番号は「19」で始まる10桁の番号で、「文書類」を表す「19」の後に中分類を示す2桁の数字と、小分類を示す6桁の数字が続く。本目録では、「19」は省略し、本のラベルの記載に倣って「中分類の数字-小分類の数字」の形で示した。なお、資料番号は1冊ずつに与えられているので、複数冊で1点となる場合は、小分類の数字を「～」や「,」でつないで示した。例えば、もとの資料番号が1901000001と1901000002で1点の場合は「1-1～2」、1901000021～1901000023と1901000083で1点の場合は「1-21～23, 83」のようになる。

国 書 の 部

1. 総 記

A 事 典

- 001 **〔増補頭書〕訓蒙図彙大成** 中村惕斎編 半 1冊 疲 *巻之二十「花草」1冊のみ存。外題には「〔増補頭書〕訓蒙図彙大成 九」とあり。頭書増補訓蒙図彙(かしらがきぞうほきんもうづみ)(巻首題)、頭書増補訓蒙図彙(柱題)。[1-300]

B 叢 書

- 002 **錦囊智術全書** 半 7冊 大阪／河内屋新治郎発行 *「百工秘術」前編上・中・下、「拾玉続智恵海」巻之上・中・下、「拾玉新智恵海」巻之上・中・下、「増補拾玉智恵海」巻之上・中・下から成る。[1-341～347]
- 003 **錦囊智術全書目録** 半 1冊 少虫・浸 *写本。前項「錦囊智術全書」の改編目録を自作したもの。[1-340]

C 新 聞

- 004 **内外新聞** 半 3冊 慶応4年(1868)刊 大阪／浪華 知新館(大阪／河内屋忠七、河内屋清七、京都／山城屋勘助)刊 *第一(閏4月17日)～第五(5月15日)、第六(5月23日)～第十(8月)、第十一(8月)～第十五(8月)の3冊。前見返に「奥邑氏」、背小口に「由宇市 奥邑氏」と墨書。[1-676～678]
- 005 **廣島新聞** 半 3冊 明治5年(1872)刊 広島／承流舎刊、広島／静真堂賣弘所 *第一号～第二号(4月)・第三号～第四号(5月)～第五号(6月)、第六号(6月)・第七号～第九号(7月)・第十号(8月)、第十一号～第十二号(8月)・第十三号～第十五号(9月)・第十六号(10月)の3冊。後見返に「奥邑姓」と墨書。[1-679～681]

2. 漢 学

- 006 **仁齋日札** 伊藤維楨(仁齋)著 大 1冊 虫損 *写本。「仁齋日札」・「極論」・「読近思録鈔」の3編から成る。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-50]
- 007 **古学先生文集** 伊藤仁齋撰、伊藤長胤編輯 大 3冊 虫損 *写本。6巻3冊。上册のみ題簽後補。宝永3年(1706)藤原韶光序。享保2年(1717)香川修徳跋。巻首に「古学先生伊藤君碯銘」(北村可昌撰)、「先府君古学先生行状」(伊藤長胤撰、末尾に「正徳丙申、将附刻本集、時校定一過」とあり)あり。前見返に「明和二年三月十七日初會」(明和2年は1765年)と墨書。朱点・朱引・上部欄外書入あり。康熙綴。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-34, 120～121]
- 008 **大極図説管見** 伊藤長胤(東涯)著 大 1冊 *写本。「大極図説管見」(宝永4年伊藤長胤跋)、「太極図説十論」(「太極十論」とも)から成る。朱字書入・訂正あり。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-35]

- 009 **鄒魯大旨** 伊藤東涯著 大 2冊 平安奎文館発行 虫損・浸・破 *上・下2巻2冊。巻上題簽後補。上巻首数丁破損による欠落。享保15年(1730)藤原高顯跋、年次不記無記名跋、享保15年(1730)奥田士享跋。柱刻に「慥慥齋藏」とあり。欄外書入あり。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-117~118)
- 010 **壺簪録** 伊藤長胤(東涯)著 大 2冊 *4巻2冊。写本。朱字訂正・欄外墨書書入あり。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-144~145)
- 011 **通書管見** 伊藤長胤(東涯)著 大 1冊 京都/小川源兵衛梓行 虫損 *宝暦6年(1756)伊藤善韶序、宝永7年(1710)伊藤長胤序。宝暦2年(1752)原田直跋。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-29)
- 012 **天命或門** 伊藤長胤(東涯)著 大 1冊 天明7年(1788)写 樋口文礼写 少虫 *写本。版本の写しか。享保11年(1726)伊藤長胤跋。奥書に「天明7年丁未正月写之文礼(「修古堂蔵書記」印、「文礼之印」印)」とあり(天明7年は1788年)。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-30)
- 013 **聖語述** 伊藤長胤(東涯)著 大 1冊 天明6年(1786)写 虫損 *写本。巻尾に「享保庚戌之春校訂七年前嘗草 右先筆/宝暦甲申四月六日較讀卒業 東所韶」とあり(享保庚戌は15年<1730>、宝暦甲申は14年<1764>)。奥書に「天明六丙午十二月文礼自写之(「文礼之印」印)/同丁未三月八日以東所先生本較正/寛政七年乙卯九月同省富先生読/文化丁卯秋進講于昌明館(この行朱)」(天明丙午は6年<1786>、同丁未は同7年<1787>、寛政7年は1795年、文化丁卯は4年<1807>)とあり。朱点、朱筆書入あり。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-31)
- 014 **紹衣稿** 伊藤蘭岨(長堅)著 大 1冊 文化4年(1807)写 樋口豊写 虫損 *写本。「蘭岨先生論語古義標註」・「紹衣稿」(伊藤長堅撰)・「孟子四説」(伊藤長堅撰)・「邪説暴行説」・「由堯舜至湯五百有餘歳全章説」から成る。前遊紙に「蘭岨先生所著論語古義標註紹衣稿孟子四説孟子説林家君所写也藏在筐底久矣皆二三小策恐与紛失焉頃日装釘為一卷題以紹衣稿謹藏于家有時文化丁卯初秋豊謹題」(文化丁卯は4年<1807>)と墨書。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-53)
- 015 **古学十論** 伊藤善韶著 大 1冊 天明8年(1788)写 樋口文礼写 虫損 *写本。天明7年(1787)伊藤善韶序。後見返に「天明七年丁未十二月騰写始業八年戊申正月念二口切全/文礼(「修古堂蔵書記」印)」とあり(天明7年は1787年)。「修古堂蔵書記」印(前見返)。朱点あり。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-46)
- 016 **靖献遺言** 浅見綱斎著 大 2冊 虫損(補修済) *8巻3冊のうち巻一~四、巻五~六の2冊存。「霜松軒河上氏書画章」印(第1冊巻首)。(1-257~258)

3. 神祇・祭礼

- 017 **戎祭寄附帳** 大 1冊 明治11年(1878)刊 *写本。仮綴。表紙に「明治十一年」、「世話人」として3名の氏名を列記し、「壺丁目/式丁目/三丁目/四丁目」とあり。後表紙に「大岡」と墨書。(1-205)

5. 言 語

- 030 **刊謬正俗** 伊藤長胤（東涯）著 半 1冊 虫損 *写本。元禄庚子伊藤長胤序（庚子は庚午の誤りか、元禄庚午は元禄3年〈1690〉）。朱点・朱字訂正あり。「大岡蔵書」印（巻首）。〔1-37〕
- 031 **〔四聲韻附〕増補大廣益會玉篇 首巻** 半 1冊 浸 *首巻（序・指南）1冊のみ存。大廣益會玉篇（序題）。〔1-797〕
- 032 **史記 助字法** 皆川淇園論定、令木龍・岡彦良編校 半 1冊 宝暦10年（1760）刊 京都／西村平八・林権兵衛・藤澤三郎兵衛、河内四良衛門刊 少虫 *2巻2冊のうち巻下のみ存。朱・墨の書入多し。「大岡蔵書」印（巻首）。「節田氏蔵書記」（巻首）。太史公助字法（目録題・巻首題）。〔1-135〕
- 033 **歌仙集 大** 1冊 寛政8年（1796）刊 大阪／柏原屋清右衛門刊 虫損・疲 *外題欠につき書名不明。資料名は登録書名による。百人一首・女今川などを載せる。節用集の類。〔1-102〕

6. 文 学

A 読 本

- 034 **漢楚軍談** 半 1冊 虫損 *15巻20冊のうち巻之六1冊のみ存。絵入。巻首・巻尾に防州岩国の貸本屋の墨印あり（未判読）。通俗漢楚軍談（目録題・巻首題・巻尾題）。〔1-255〕
- 035 **奥州白石英** 大 2冊 *写本。天・地2冊（不分巻）。後見返に「前原氏」と墨書。武道白石英（巻首題）。〔1-366~367〕
- 036 **遠山奇談** 半 4冊 寛政10年（1798）新板 京都／銭屋利兵衛、箸屋甚助刊 疲 *4巻4冊。絵入本。題簽にも「ゑ入」とあり。題簽には「とをやまきだん」と振り仮名あり。見返題に「平安書林 華箋堂 梓」、巻尾に「平安李香堂藏」とあり。寛政10年（1798）浄林坊辨恵序。後表紙に「本／奥村什物」と墨書。「防州／由宇／奥甚」墨印（後見返）。〔1-647~650〕
- 037 **遠山奇談後編** 半 4冊 享和元年（1801）新鐫 京都／箸屋甚助、箸屋宗八、銭屋利兵衛刊 疲 *4巻4冊。絵入本。題簽にも「ゑ入」とあり。見返題に「華箋堂 梓」とあり。享和元年（1801）華誘山人序。後表紙に「本／奥村什物」と墨書。「防州／由宇／奥甚」墨印（後見返）。〔1-651~654〕
- 038 **絵本黴瘡軍談** 船越敬祐（錦海）著、烽山重春画 半 3冊 天保9年（1838）刊 江戸／須原屋茂兵衛、名古屋／永楽屋東四郎、京都／丸屋善兵衛、山城屋佐兵衛、大阪／河内屋茂兵衛、河内屋平七、塩屋弥七、播磨屋五郎兵衛刊 *本編5巻と巻の六附録増補の6巻3冊。見返題に「蔵六亭蔵版」とあり。天保9年（1838）榎陰散人序。同年船越晋（敬祐）述意。後見返（第3冊は前見返）に「天保十二辛丑初春求焉／奥邑氏」（天保12年は1841年）と墨書。黴瘡軍談（巻首題・巻尾題）。〔1-660~662〕

B 実 録

- 039 **大岡仁政録** 大 3冊 少虫 *写本。仮綴。巻之九・十、巻之十一~十四、巻之十五~十七

の3冊存。前見返に「蔵廻氏」と墨書。[1-328~330]

040 **〔敵討〕箱根靈驗記** 大 1冊 疲 *写本。題簽剥落につき外題欠。資料名は扉題による。扉裏に「千石原／蔵廻」、上小口に「安政六年未二月吉日」（安政6年は1859年）、下小口に「千蔵氏」と墨書。敵討箱根靈驗記（目録題・巻首題）。[1-333]

041 **女敵討目録** 大 1冊 虫損 *写本。外題は目録題を誤ったもの。巻尾に「安政二年卯五月吉日」（安政2年は1855年）と墨書あり。後見返に「口上書／一此本之儀者何様ニ而も／貸方も仕候共御覧之上者／早々御戻し可被下候様ニ偏ニ希／奉存上候 以上」と墨書。奥州仙台南敵討の事（目録題）。[1-338]

042 **〔天下茶屋〕敵討真伝記** 大 1冊 虫損 *写本。3冊のうち下冊1冊のみ存。後見返に「前原氏」と墨書。[1-365]

043 **豊臣鎮西御軍記** 大 6冊 少虫 *写本。35巻7冊のうち第16~第20の1冊欠。後見返に「七冊之内／前原氏」と墨書。[1-373~378]

044 **三考内侍所** 大 1冊 少虫 *写本。40巻8冊のうち第16以降の5冊存。後見返に「八冊之内／前原氏」と墨書。赤穂精義内侍所（巻首題）。[1-379~383]

045 **日光郡鄕枕** 半 10冊 浸 *写本。10巻10冊。寛延3年（1750）浪華の隠士岡もと序。[1-635~644]

046 **慶安太平記** 大 2冊 疲 *写本。10巻10冊のうち巻之三、巻之拾の2冊存。ただし巻之拾は後半部欠。巻之拾の巻末遊紙に「寛政7年／竹田護吉」（寛政7年は1795年）と墨書。[1-645~646]

C 随筆

047 **盍簪余録** 伊藤長胤（東涯）著 大 1冊 *上・下2巻1冊。写本。朱筆訂正書入あり。「大岡蔵書」印（巻首）。[1-9]

048 **近譬録** 樋口豊著 半 1冊 少虫 *写本（稿本）。文化元年（1804）樋口豊小引。朱点・朱字付訓・欄外墨書書入あり。[1-61]

049 **好問随筆** 岩国密書覚／帰一齋書写 大 3冊 文政8年（1825）写 大原藤右衛門写 虫損 *写本。仮綴。巻之一末尾に欠落あり。巻之三末尾奥書に「文政八酉歳冬十一月吉日終／大原家八代目藤右衛門／書写」とあり。[1-283~285]

050 **好門随筆書取** 大 2冊 少虫 *写本。仮綴。老部・式之部の2冊存。表紙に「小野驥徳」と墨書。表紙外題の下に「松谷」墨印あり。好問随筆書取（巻首題）。[1-286~287]

051 **駿台雑話読本** 室鳩巢著、中野虎三校訂 半 1冊 明治30年（1897）発行 東京／青山清吉 *和装活字本。明治30年（1897）凡例。[1-835]

D 書簡

052 **常用書札略鈔** 戸川敬明著 大 1冊 宝暦6年（1756）写 少虫 *写本。3巻合1冊。享保4年（1719）整齋戸川成佐序。奥書に「右三冊家君嘗所輯録其間猶有可擇者使予校之乃謹改正以浄書云／宝暦丙子春／戸川敬明」（宝暦丙子は宝暦6年）とあり。「大岡蔵書」印（巻首）。整齋懐

寶當用書札略鈔（巻首題）。〔1-132〕

- 053 吉川家重役様書状 3通 *書簡3通。①某年8月17日付、朝枝直記宛書状。②某年8月11日付、朝枝源次郎宛、有馬左衛門の書状。③3月2日付、朝枝源次郎・同白瀧宛、桂勘左衛門書状。〔1-825〕

E 文集

- 054 今世小品文集 大 1冊 明治23年（1890）書 *写本。仮綴。表紙に「第壹號」とあり。後見返に「時は明治二十三年四月／〔即神武／天皇祭〕書於千里小樓／陰翳鬱々之處／嗜文静史」と奥書あり。表紙に「SK生」、後表紙に「蔵廻蔵（「蔵廻」印）」と墨書。「蔵廻」印（題辭）。〔1-331〕
- 055 信好先生文集 朝枝信好著 大 1冊 文化2年（1805）写 樋口文礼写 *写本。漢文集。巻尾に文化2年（1805）樋口文礼の奥書あり。朱点、朱・墨の書入あり。「大岡蔵書」印（前遊紙）。綴紐により〔1-101〕と合綴。信好晁先生文集（巻首題）。〔1-100〕
- 056 素翁先生文集 素翁先生（樋口東里）著、樋口豊編 半 2冊 *写本。漢文集。文化5年（1808）樋口豊序。朱点、朱・墨の書入あり。「大岡蔵書」印（巻首）。〔1-115～116〕
- 057 草稿 半 1冊 明治15年（1882）写 *写本。漢文集。表紙に「明治十五年秋九月」と墨書。後見返に朱筆書入あり。仮綴。「財間榮印」印（表紙）。「友巖」印（表紙）。〔1-152～155〕まで綴紐で合綴。〔1-152〕

F 漢詩・漢詩文集

- 058 近世百家絶句 大 2冊 文久4年（1864）刊 尾張／永楽屋東四郎刊 少虫・破 *上・下 2巻2冊。文久2年（1862）閑雲勤序。「三木」印（前見返）。〔1-487～488〕
- 059 花月吟 菅茶山著 中 1冊 文政11年（1828）発行 大阪／河内屋吉兵衛・加賀屋善蔵刊 浸 *文政9年（1826）中邨耘序。年次不記篠崎弼序。年次不記茶山老人菅晋自跋。末尾に「附録花月吟」（唐伯虎）を付す。「長重蔵書」印（巻首）。〔1-187〕
- 060 古白遺稿 樋口古白著 半 1冊 *写本。袋綴ではない。柱刻に「樋口蔵書」とある罫紙使用。朱点・朱字書入あり。「大岡蔵書」印（前遊紙）。〔1-95〕
- 061 独立詩集 独立性易（天間老）著 大 1冊 虫損 *写本。「吾何有菴偶艸」・「癸卯焚餘艸」（寛文3年〈1663〉）の二部から成る。寛文4年（1664）独立自序。宝永2年（1705）宇都宮遯庵跋。朱点あり。上部欄外書入あり。〔1-831〕
- 062 鷄肋前稿 樋口東里（公瑛）著 半 1冊 虫損 *写本。外題に「鷄肋前稿 乾坤」（但し「坤」字は剥がれ）、下小口書に「鷄肋前集完」とあり。天明元年（1781）樋口公瑛自序。朱点あり。「大岡蔵書」印（前遊紙）。〔1-41〕
- 063 鷄肋後稿 樋口東里（公瑛）著、樋口豊（義所）編 半 2冊 虫損 *写本。乾・坤2冊。巻首に「鷄肋二稿小引」があり、末尾に「文化丙辰夏五書于表次 男豊謹誌」とあり（文化丙辰は丙寅の誤りか。文化丙寅は3年〈1806〉）。朱点あり。「大岡蔵書」印（巻首）。〔1-42～43〕
- 064 解庵遺稿 文詩 樋口解庵著 半 1冊 *写本。「詩稿」・「文稿」から成る。「大岡蔵書」印（巻首）。〔1-27〕

- 065 **〔校讎訂正〕錦繡段** 天隱竜沢編 大 1冊 貞享5年刊 井筒屋六兵衛開版 虫損 *文明15年(1483)天隱竜沢序。康正2年(1455)天隱竜沢跋。後見返に「楊原彦四郎」「柳原正徳」等と墨書。錦繡段 新編新撰抜粋(序題)、新刊錦繡段(巻首題)。[1-252]
- 066 **題画詩刪** 森川竹窓編 小 1冊 文政6年(1823)発行 江戸/須原屋茂兵衛、京都/吉野家仁兵衛、大阪/河内屋木兵衛・河内屋源七郎刊 *上・下2巻2冊。見返題に「浪華書林 積玉圃・文栄堂 合梓」とあり。文政5年(1822)横堀逸氏序。同年、竹窓森世王跋。上冊後見返・下冊前見返に「明治四年未七月吉日/讃州金比羅宮下内町書林ニ而求之/筋田文四郎代」(明治4年は1871年)と墨書。下小口に「二冊之内 筋田文四郎代」と墨書。[1-303~304]
- 067 **坂谷先生詩** 大草主事評、安達翁批点 大 1冊 明治3年(1870)写 少虫 *写本。仮綴。表紙に「明治庚午中夏初九寫」と墨書(「明治庚午」は3年)。巻尾に「坂谷素拝校」とあり。朱筆、朱点、欄外書入あり。[1-152~155] まで綴紐で合綴。但し資料番号なし([1-154]の後)。
- 068 **草稿** 大 1冊 明治15年(1882)成 *写本。仮綴。表紙に「明治十五年」と墨書。「財間榮印」印(表紙)。「友巖」印(表紙)。[1-152~155] まで綴紐で合綴。[1-153]
- 069 **草稿/靡蕪稿** 半 1冊 明治15年(1882)成 *写本。仮綴。表紙に「皇明治十五年第七月」と墨書。「友巖」印(表紙)。[1-152~155] まで綴紐で合綴。[1-155]
- 070 **野詩** 大 1冊 明治15年(1882)成 *写本。仮綴。表紙に「明治十五年第六月」と墨書。後表紙に「財間榮」と墨書。朱点、朱字添削、欄外書入あり。[1-152~155] まで綴紐で合綴。[1-154]
- 071 **大統歌** 鹽谷世弘著 大 1冊 虫損 *写本。仮綴。下1冊のみ存。[1-156]
- 072 **回天詩史** 藤田彪斌卿(東湖)著 大 2冊 虫損 *上・下2巻2冊。刊記なし。扉裏に「長門蔵版局章」印あり。「楽軒」印(前見返)。[1-489~490]
- 073 **西遊記** 大 1冊 虫損・疲 *写本。仮綴。九州地方への旅行記。[1-160]
- 074 **〔詩作必携〕詩礎楷梯** 三国幽眠著 中 2冊 東京/松山堂藤井利八発行 *上・下2巻2冊。天保15年(1844)鷹巢三国準自序。門人植田慎筆受、児玉徳訂正、山田恭校字。詩礎楷梯(序題・巻首題・巻尾題)。[1-473~474]
- 075 **〔増補註解〕詩韻含英異同辨** 劉豹君(文蔚)輯、谷喬増補編輯 袖珍本 2冊 明治26年(1893)再刻発兌 大阪/此村庄助、此村彦助刊 *銅版。薄様。18巻2冊。帙入り。帙裏に「山口縣玖珂郡師木野村/大字六呂師村之鳴/宮崎太一郎(印)/明治三十年三月六日買求」(明治30年は1897年)と墨書。[増補註解] 詩韻含英(巻首題・巻尾題)、詩韻含英(柱題)。[1-777]
- 076 **〔金玉玉辰〕新撰詩学活法** 福井耕雲編 袖珍本 2冊 大正14年(1925)十二版発行 大阪/田中宗栄堂刊 *天(巻首・巻之一~三)・地(巻之四~六)の6巻2冊。絵入。明治26年(1893)竹香生正棟序。[1-477~478]

G 和歌

- 077 **類題和歌集** 半 1冊 少虫、破 *巻第四(春部四)1冊のみ存。写本。[1-253]
- 078 **桂園一枝拾遺** 香川景樹著 大 2冊 嘉永3年(1850)発行 江戸/須原屋茂兵衛・岡田屋嘉七、大坂/河内屋喜兵衛、京都/出雲寺文治郎刊 虫損 *嘉永2年(1849)平忠秋序。見返題

- と刊記に「東塙塾藏」とあり。「宇都宮」印（後見返）。〔1-103～104〕
- 079 **草庵和歌集蒙求諺解** 梅月堂僧宣阿（香川宣阿）集編、梅仙堂平景新（香川景新）訂正 半
2冊 ＊全15巻・続5巻のうち巻第六・巻第十一の2冊存。〔1-38～39〕
- 080 **和歌籠之塵** 有賀長伯著 中 1冊 ＊上・下2巻3冊のうち上（季節）・下第1冊（恋及雑）
の2冊存（外題には上・中とあり）。享和元年（1801）有賀長収序。「今田印章」印（巻首）。〔1-475
～476〕
- 081 **熊谷直好大人旅日記各種・〔岩国〕名家歌集 梅蔭自撰歌集** 熊谷直好著 大 1冊 虫損・破
＊写本。仮綴。「熊谷直好大人旅日記各種」・無題歌集・「〔丙戌春改正〕梅蔭自撰」（宝暦12年（1762）
梅蔭齊惟右編）・無題歌集（明和2年（1765）惟右編）・無題歌集（明治37年（1904）写）等を合綴。
後見返に「藤田葆」と墨書。「三木菊山人」印（巻尾）。〔1-96〕

H 俳 諧

- 082 **三題點取集** 門前初心連詠、柳々亭加点 大 1冊 安政6年（1859）成 虫損 ＊写本。仮綴。
厚紙で後補された外表紙に外題は直書。後補表紙・元表紙に「門前初心連」と墨書。元表紙に「安
政六年未ノ十二月末」云々とあり。元表紙裏に「天 孤月」「地 道楽」「人 臥龍」とあり。元後
表紙に「此主／喜代太郎分」「大岡」と墨書。〔1-192〕
- 083 **春雨のつれづれ** 大 1冊 虫損 ＊写本。仮綴。厚紙で後補された外表紙に「春田のつれづ
れ／喜楽園の群」と墨書。資料名は元表紙による。後補表紙・元表紙に「喜楽園の群」とあり。巻
尾に「柳々老人撰」「巻取／孤月也」「明治九年子之二月日」（明治9年は1876年）と墨書。元後表
紙に「大岡」と墨書。〔1-179〕
- 084 **三題春の詠** 門前水魚連詠、柳々山人加点 大 1冊 虫損 ＊写本。仮綴。厚紙で後補され
た外表紙に外題は直書。後補表紙・元表紙に「門前水魚蓮」と墨書。表紙裏に「天孤月」「地染子」
「人梅月」とあり。朱・墨による加点あり。元後表紙に「大岡」と墨書。〔1-188〕
- 085 **三題夏のはじめ** 門前連詠、桃林舎点 大 1冊 疲 ＊写本。仮綴。厚紙で後補された外表
紙に外題は直書。後補表紙・元表紙に「門前蓮」と墨書。元表紙の書名右肩に「六會目」とあり。
表紙裏に「后題／短夜 葉桜 蝙蝠／右旧閏三月十日限り」とある。朱・墨による加点あり。元後
表紙に「大岡」と墨書。〔1-189〕
- 086 **夏の三題** 門前水魚群詠、中和老人撰 大 1冊 虫損・疲 ＊写本。仮綴。厚紙で後補され
た外表紙に外題は直書。後補表紙・元表紙に「門前水魚群」と墨書。朱・墨による加点あり。巻尾
に「后秋題／新涼 相撲 一葉／旧七月五日限り」「明治九年子之六月末」（明治9年は1876年）と
あり。元後表紙に「大岡」と墨書。〔1-194〕
- 087 **三題秋の花** 門前連詠、柳々亭点 大 1冊 虫損・浸 ＊写本。仮綴。厚紙で後補された外
表紙に外題は直書。後補表紙・元表紙に「門前蓮」と墨書。元表紙に「安永六年」、元表紙裏に「九
會三題點メ甲乙」「月 孤月」「霧 古鶴」「花 松山」とあり（安永6年は1777年）。巻尾に「右九
月十五日限り延なし」とあり。元後表紙に「此主／喜代太郎」・「大岡」と墨書。〔1-190〕
- 088 **〔三題〕秋の発句** 門前水魚連詠 大 1冊 虫損・破 ＊写本。仮綴。厚紙で後補された外表
紙に外題は直書。後補表紙・元表紙に「門前水魚蓮」と墨書。元表紙に「天孤月」「地柳歌」「人一

楽」とあり。朱・墨による加点あり。元後表紙に「大岡」と墨書。〔1-191〕

089 〔点取〕冬之三題 門前水魚群詠、柳々山人撰点 大 1冊 虫損・疲 *写本。仮綴。厚紙で後補された外表紙に「点取 冬之三題」と外題。後補表紙・元表紙に「門前水魚群」と墨書。朱・墨による加点あり。巻尾に「后題／炬燵 神楽 歳暮／旧十二月十日限り／延無し」、元後表紙に「明治十年丑ノ十月」（明治10年は1877年）「大岡」と墨書。〔1-193〕

090 〔増補改正〕俳諧歳時記栞草 曲亭馬琴纂輔、藍亭青藍増補 中 1冊 *洋装活字本。洋紙。上巻1冊のみ存。嘉永3年（1850）藍亭青藍序。「上林蔵書之印」印（巻首）。〔1-305〕

I 狂歌

091 徳和歌後万載集 山手白人編 大 合1冊 天明5年（1768）刊 京都／須原屋仕入店、大坂／柏原屋瑛左衛門、大坂／柏原屋佐兵衛、江戸／須原屋伊八（板）刊 少虫 *巻第一～六、巻第七～十五の2冊を合綴。朱筆書入あり。連歌12句を記した紙を挟み込む。〔1-485～486〕

J 歌謡

092 和漢朗詠集 大 1冊 京都／出雲寺和泉掾板 疲 *巻之下1冊のみ存。後見返に「安政二年卯／五月吉日／蔵廻性」（安政2年は1855年）、後表紙に「天保3年 六月／蔵廻氏」（天保3年は1832年）と墨書。〔1-327〕

093 〔西国三十三ばん〕じゅんれい哥 大 1冊 天保7年（1836）写 平之丞写 疲 *写本。元表紙の外に楮紙の外表紙を後補して仮綴。資料名は元表紙外題による。外表紙外題は「西国三十三ヶ所／巡礼歌」。元表紙に「御西国哥」「奉順礼西国三十三所／同所 名」等と墨書。元前見返に「奉納西国三拾三所為二世安楽／防州岩国玖珂郡／阿品邑／同行何人」と墨書。元後見返に「天保七申年／四月十三日ヨリ書也／阿品邑主／平之丞」とあり（天保7年は1836年）。〔1-245〕

094 酒肴のたね 横 1冊 疲 *末尾・後表紙欠。巻首に「石原／中屋」と墨書。俗謡。〔1-769〕

7. 音楽・演劇

A 芸能

095 ちよんかり本 大 1冊 疲・浸 *写本。仮綴。表紙に「文政三年／辰八月吉日」（文政3年は1820年）・「木屋／藤右衛門」・「一反田／彌八郎」、巻尾に「木屋／藤右衛門／如件おなか由時」と墨書。〔1-822〕

B 謡曲

096 大佛供養 観世左近訂正著作 半 1冊 昭和15年（1940）刊 京都／檜書店刊 *活字本。洋紙。昭和15～16年刊の謡本。「外七ノ二」。〔1-63〕

097 竹生嶋 観世左近訂正著作 半 1冊 昭和15年（1940）刊 京都／檜書店刊 *活字本。洋紙。昭和15～17年刊の謡本。「内六ノ一」。〔1-64〕

098 合浦 観世左近訂正著作 半 1冊 昭和15年（1940）刊 京都／檜書店刊 *活字本。洋紙。

- 「外十ノ一」。昭和15～18年刊の謡本。[1-65]
- 099 **土蜘蛛** 観世左近訂正著作 半 1冊 昭和15年(1940)刊 京都／檜書店刊 *活字本。洋紙。昭和15～19年刊の謡本。「十ノ五」。[1-66]
- 100 **俊成忠度** 観世左近訂正著作 半 1冊 昭和15年(1940)刊 京都／檜書店刊 *活字本。洋紙。昭和15～20年刊の謡本。「外十一ノ五」。[1-67]
- 101 **安宅** 観世左近訂正著作 半 1冊 昭和15年(1940)刊 京都／檜書店刊 *活字本。洋紙。昭和15～21年刊の謡本。「内十八ノ二」。[1-68]
- 102 **鶴亀** 宝生正流派校訂 中 1冊 大正5年(1916)再版 長野／会真堂刊 [1-352]
- 103 **花月** 喜多六平太著 半 1冊 大正10年(1921)発行(改訂五版) 東京／わんや書店(江島伊兵衛)刊 浸 *和装活字本。[1-415]
- 104 **岩船** 観世左近訂正 半 1冊 昭和8年(1933)発行 東京／檜書店刊 *和装活字本。「長重蔵書」印(巻首)。[1-457]
- 105 **吉野静** 観世左近訂正 半 1冊 昭和8年発行 東京／檜書店刊 *和装活字本。「長重蔵書」印(巻首)。[1-458]
- 106 **小謡本** 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「文化十四年／丑ノ十月吉日」(文化14年は1817年)、「中屋／伊助」と墨書。[1-770]
- 107 **小謡集** 湯浅衆策編輯 横 1冊 明治41年(1908)発行 東京／春江堂刊 *年次不記大俣良作序。刊記は活字。[1-151]
- 108 **喜多流／小謡集** 小 1冊 虫損・疲 *年次不記、いつくしま長谷川序。刊記なし。表紙に「此主石原邑／中本氏」、後見返に「中屋重兵衛」と墨書。[1-771]
- 109 **下掛囃謡大成** 武江書林刊 横 1冊 享保元年(1716)刊 江戸／須原屋平助梓 虫損・浸 *扉に「畑ノ／中本什具」、巻尾に「福寫清権三郎改(花押)」と墨書。[1-791]

C 浄瑠璃

- 110 **忠臣蔵 四段目／塩冶館之段** 半 1冊 大阪／加嶋屋清助板 疲 *仮綴。厚紙で後補された外表紙に外題は直書。元表紙に「塩冶館段(「ゑんややかたのたん」と振り仮名)／忠臣蔵 四だんめ」と墨書。元表紙裏に「慶長四歳」(慶長4年は1599年)、扉裏に「慶應四歳(戊辰)如月吉祥日／木村源太郎」(慶應4年は1868年)と墨書。元後表紙に「岩慶應四歳 戊辰 弥生日／防州岩国玖珂郡中津むら開竹／此主木村源太郎」云々と墨書あり。[再板] 塩冶館(「ゑんややかた」と振り仮名)の段(「だん」と振り仮名)／忠臣蔵(「ちうしんぐら」と振り仮名) 四段目(扉題)、假名手本忠臣蔵(四段目)(巻首題)。[1-196]
- 111 **三日太平記** 半 1冊 大阪／加嶋屋清助板 疲 *仮綴。厚紙で後補された外表紙に外題は直書。元表紙に「三日太平記 奈下住家の段」と墨書。末尾欠落あり。松下(「まつし」と振り仮名)住家段(「だん」と振り仮名)／[再板] 三日(「みつか」と振り仮名) 太平記 九つ目(扉題)、三日太平記 九つ目(巻首題)。[1-197]
- 112 **国姓爺合戦** 半 1冊 疲 *仮綴。厚紙で後補された外表紙に外題は直書。「新板国性爺合戦」・「新板石どう丸上之巻」・同下之巻・「おなつ清十郎」・「新板おはん長右衛門浮名の桂川」・「赤

- 間関坊の露」他7作を集める。浄瑠璃本の冒頭部分を集めて綴じ合わせたもの。〔1-198〕
- 113 忠臣蔵夜討段 半 1冊 大阪／加嶋屋清助版 疲 *仮綴。厚紙で後補された外表紙に外題は直書。元表紙に「忠臣蔵夜討段／第十一切」と墨書。後見返に「此主庄印」等と墨書。元後表紙に「大岡」と墨書。〔再板〕義士夜討段（「ぎしようちのだん」と振り仮名）／忠臣蔵（「ちうしんぐら」と振り仮名） 十一切（扉題）、假名手本忠臣蔵 第十一（巻首題）。〔1-199〕
- 114 仮名手本忠臣蔵 六段目の切 大 1冊 *題簽剥落につき外題欠。資料名は巻首題による。刊記なし。前表紙裏に「此本何某様江参り候共／早々御戻し可被下候様／奉希候 千／蔵廻氏」と墨書。扉に切り取りあり。〔1-334〕
- 115 花上野 志渡寺の段 竹本住太夫 大 1冊 江戸／蔦屋重三郎、総州屋與兵衛板 少虫・疲 *外題は直書。前見返に「此本何某様江参り候共／早々御戻し可被下候／以上／千／久良佐古」と墨書。後見返に「主／末市」「千石原／蔵廻」と墨書。花上野誉石碑 志度寺の寺（巻首題）。〔1-335〕
- 116 伊賀越道中双六 沼津の段・傾城阿波の鳴門 八段目・〔おはん／長右衛門〕桂川連理柵 再板／下の巻 帯屋の段・祇園祭禮信仰記 半 1冊 疲・破 *外題欠。浄瑠璃本4冊を合綴したもの。「桂川連理柵」は大阪／笹井治郎右衛門刊。「祇園祭禮信仰記」は大阪／玉水源次郎新版。〔1-336〕
- 117 琴責の段 半 1冊 にしのみや新六板 皺 *前見返に「横山村字千石原／千／蔵廻氏」、後表紙裏に「蔵廻氏」等と墨書。壇之浦兜軍記 琴責の段（巻首題）。〔1-337〕
- 118 壇浦兜軍記 大 1冊 浸 *写本。表紙に「明治八年／亥旧六月吉日」（明治8年は1875年）と墨書。後表紙と後表紙裏に「河元要助」等と墨書。〔1-339〕
- 119 貢十人切（みつぎぢうにんきり）の段（だん） 伊勢音頭恋寝刃（いせをんどこひのねたば） 加古千賀女添作 半 1冊 大阪／加嶋屋竹中清助版 *伊勢音頭恋寝刃（巻首題）。朱筆書入あり。〔1-742〕
- 120 忠臣蔵（ちうしんぐら）／二度目清書（にどめのきよがき）再板／寺岡切腹段（てらをかせつふくのだん） 半 1冊 大阪／加嶋屋竹中清助版 *忠臣二度目清書（巻首題）。〔1-743〕
- 121 摂洲合邦辻（せつしうがつぱうがつち）再板／下の巻 合邦内（がつぱううち）の段（だん） 半 1冊 大阪／加嶋屋竹中清助版 *摂洲合邦辻 下の巻（巻首題）〔1-744〕
- 122 摂洲合邦辻 下の巻 大 1冊 *特大本。外題欠。資料名は巻首題による。刊記なし。朱筆書入あり。〔1-745〕
- 123 〔増補（ぞうほ）〕艶容女舞衣（あですがたおんなまびぎぬ） 酒屋（さかや）のだん 武本綱太夫作 半 1冊 大阪／天満屋安兵衛刊 疲 *艶容女舞衣（下の巻の切）（巻首題）。朱筆書入あり。〔1-746〕
- 124 艶容女舞衣 下の巻 半 1冊 *外題欠。資料名は巻首題による。朱筆書入あり。〔1-747〕
- 125 道春館之段 玉藻前三 前田鹿之助編輯 半 1冊 明治44年（1911）発行 大阪／加嶋屋竹中清助 *裏表紙に「鶴澤／梅花」「八日市吉住稻大子」と墨書。玉藻前旭袂 三の切（巻首題）。〔1-748〕
- 126 亦助住家段（またすけすみかのだん） 加々見山旧錦絵（かみみやまこきやうのにしきゑ） 半 1冊 大阪／加嶋屋竹中清助刊 *加々見山旧錦絵 亦助住家段（巻首題）。墨の書入れあり。〔1-749〕
- 127 三十三所壺阪 沢市内之段 豊澤団平章 半 1冊 明治24年（1891）出版御届 大阪／加嶋屋竹中清助刊 *〔三十三所花の山〕壺阪靈験記（つばさかれいげんき）澤市内（さわいちうち）（扉題）、観音靈験記 壺坂寺の段（巻首題）〔1-750〕

- 128 桂川連理之柵 帯屋の段 大 1冊 *写本。仮綴。末尾に「昭和貳拾貳年五月／双葉乱書」と墨書。[1-751]
- 129 本朝傑作 浄瑠璃大全 微笑山人編 小 1冊 明治27年(1894)出版 山口恒七編輯・発行 *洋装並製活字本。洋紙。袋綴ではない。[本朝傑作] 浄瑠璃大全(扉題)、[傑作] 浄瑠璃本(巻首題・巻尾題)。[1-768]

D 雅 楽

- 130 頭管仮名譜 大 1冊 疲 *写本。仮綴。「五常楽」・「越天楽」・「武徳楽」の譜。「五常楽」末尾に「右授／明治十四年一月／廣島縣佐伯郡厳島／福田嘉守／中本貢殿」(明治14年は1881年)とあり。表紙、「越天楽」末尾に「中本氏」と墨書。朱点あり。[1-807]

8. 歴 史

A 通 史

- 131 日本外史 頼襄子成(山陽)著、銭樸子琴評閱 大 12冊 光緒15年 上海／読史堂翻刻 *唐本。唐紙。22巻12冊。光緒3年(1877) 斉学裘玉谿序、光緒4年(1878) 子琴銭樸序。「森石華圖書章」印(表紙)。[1-504~515]
- 132 日本政記 頼山陽著 大 3冊 *二(巻之三・四)、三(巻之五・六)、五(巻之八・九)の3冊存。朱字書入あり。「前原蔵書」印(巻首)。[1-353~355]
- 133 校正日本政記 頼襄子成(山陽)著 半 1冊 明治33年(1900)刊 浸 *全16巻のうち巻之一・二の1冊のみ存。外題は後補題簽に直書。明治9年(1876) 頼復、明治30年(1897) 頼潔例言。[1-227]
- 134 史略 皇国／支那 大 1冊 明治8年(1875)写 奥村守三郎写 *写本。仮綴。「史略」(日本)と「史略〈支那〉」の二部から成る。内容は明治6年以降刊行の「官版史略」のうちの「皇国史略」と「支那史略」に当たる。後遊紙に「奥村守三郎／明治八歳亥之夏／写之」(明治8年は1875年)と墨書。[1-634]
- 135 〔翻刻〕日本略史 笠間益三編輯 中 4冊 明治9年(1876)翻刻 大坂／柳原喜兵衛、浅井吉兵衛刊 *4巻4冊。各冊末尾に淡彩色地図折込。巻之四巻尾に「国勢沿革略論」を付す。「美方」墨印(表紙)。日本略史(見返題)、日本畧史(例言題・巻首題)。[1-848~851]

B 年 表

- 136 和漢年契 増補大成 蘆屋山人著 大 1冊 安政2年(1855)大成増補重鐫 大阪／奈良屋長兵衛・伊丹屋善兵衛・伊豫屋善兵衛・秋田屋太右衛門刊 *寛政8年(1796)三村其原序。寛政元年(1789)高昶(蘆屋山人)凡例。刊記末に「発行書林」として江戸の9書肆名を列記。見返題に「浪速書肆宣英堂蔵」とあり。刊記面に「樋口」と墨書。「大岡蔵書」印(前遊紙)。[1-51]

C 雑史

- 137 **忠臣規矩順從録** 大 3冊 虫損 *上・中・下3冊(不分巻)。下冊末尾に「義士墳墓分野」
図1丁あり。後見返に「高木氏」と墨書。[1-358~360]
- 138 **童の夜話** 大 1冊 少虫 *写本。全5冊のうちの第1冊。文久3年(1863)浪花歌喜亭序。
前見返に「前原氏」と墨書。朱筆書入あり。岩国徴古館蔵吉川家寄贈図書類第五類389「大和合戦
童夜話」の巻一と同じと思われる。山口県文書館塩田家文書の2810~2811にもあり。[1-364]
- 139 **中朝事実衍義** 山鹿素行著、山本江雨編纂 半 2冊 大正元年(1912)発行 精華堂書店刊
*和装活字本。上・下2巻2冊。巻首に山鹿高興「中朝事実自序」・「乃木將軍自作山鹿先生ヲ祭ル
ノ文」・山本江雨「緒言」・「山鹿素行伝」あり。[1-167~168]

D 戦記

- 140 **厭蝕太平楽記** 大 2冊 虫損 *写本。全30巻のうち巻十九~廿一、巻廿二~廿四の2冊の
み存。後見返に「高木氏」と墨書。厭蝕太平記(巻首題・巻尾題)。[1-361~362]
- 141 **慶應二寅ノ六月ノ戦争諸口報告書 附他二色々書知ス** 大 1冊 並 *写本。仮綴。「諸口戦争
雑知録」・「奥州戦争ノ精義隊報知書・建尚隊報知書」・「太政官日誌」・「函館戦争記」を合綴。[1-148]

E 伝記

- 142 **平太郎事蹟談** 半 5冊 寛政8年(1796)刊 大坂ノ田村九兵衛、北尾善七刊 *5巻5冊。
寛政8年(1796)多順序。寛政7年(1795)中川正房跋。常陸国平太郎事蹟談(ひたちのくにへいた
ろうじせきだん)(巻之一巻首題)、常陸国平太郎事蹟談(巻之一巻尾題)、平太郎事蹟談(「じせきだん」
のみ振り仮名あり)(巻之二~五巻首題)。[1-655~659]
- 143 **弘法大師** 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「明治十年ノ丑八月吉日ノ加誉祐心」(明治10
年は1877年)と墨書。巻尾に「明治十年丑九月廿五日泊清寺円ノ佛蓮加誉祐心加誉祐心大徳」と墨
書。弘法大師縁起(巻首題)。[1-786]
- 144 **前賢故実** 菊池武保(容齋)著 半 10冊 明治36年(1903)翻刻発行 東京ノ郁文社櫻井庄
吉刊 *和装活字本。10巻10冊。天保7年(1836)松田順之序、同年菊池武保自序。安政4年(1857)
羽倉用九跋、慶應4年(1868)松園道人塩田泰跋、年次不記菊池隆房跋。[1-836~845]

F 系譜・系図

- 145 **歴代帝王世統譜畧** 伊藤長胤(東涯)輯 大 2冊 少虫 *写本。正編(全5巻のうち巻二ま
で)と附巻の2冊存。後補題簽に「歴代帝王世系譜畧」「歴代帝王世統譜略 付巻」と外題。元
禄3年(1690)伊藤長胤序。「大岡蔵書」印(巻首)。歴代帝王世系譜畧(序題)、歴代帝王譜畧(凡
例題)。[1-1~2]
- 146 **徳川御家譜** 半 1冊 文化4年(1807)写 樋口豊写 少虫 *写本。奥書に「右文化四年
冬写了原本者黒杭氏所持也ノ修古堂主人豊(「大口氏」印)」とあり。下小口に「徳川譜」とあり。
「修古堂蔵書記」印(前見返)。[1-3]

- 147 **吉川御家譜** 大 1冊 少虫 *写本。「大岡蔵書」印(巻首)。「樋口孫印」(巻首)。(1-47)
- 148 **吉川家系譜** 大 1冊 少虫・汚・浸 *写本。仮綴。前表紙は楮紙で後補。巻首に欠落あり。吉川経幹の息友千代(嘉永7年(1854)早世)に至る。(1-281)
- 149 **吉川氏御系図** 大 1冊 虫損 *写本。昭和12年(1937)に吉川家岩国事務所保管の系図により吉川経幹以下の部分を増補した由付箋にあり。大正14年(1925)生まれの吉川重喜まで記載。吉川家の系図に関する和歌集を添付。(1-97)

G 家伝

- 150 **吉川家御舊記** 大 1冊 浸・少虫 *写本。(1-447)
- 151 **御舊記察書** 半 1冊 虫損 *写本。吉川家関係史料の抜書。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-11)

H 文書

- 152 **萬集鑑** 半 1冊 文化5年(1808)写 樋口豊写 虫損 *写本。奥書に「文化五年戊辰初夏写 樋口豊」とあり。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-33)

I 記録

- 153 **日記** 大 1冊 浸・虫損 *写本。仮綴。前後表紙なし。巻首に「元禄十五年ナルベシ」(元禄15年は1702年)と朱書。4月1日～16日までの記録。(1-830)
- 154 **享保五年八月廿七日京都火刑梟首斬罪之状** 大 1冊 虫損 *写本。仮綴。後表紙なし。巻尾欠落か。子八月廿七日御仕置有覚(巻首題)。享保5年は1720年庚子。(1-827)
- 155 **文政五年智恵院様三回忌御法要控** 1冊 *写本。仮綴。表紙に「文政五年午六月廿日／智恵院様三回御忌請／宝治他客引受方被仰候／一達仮扣／朝枝往来」(文政5年は1822年)とあり。資料名は仮に付けたもの。(1-828)
- 156 **騒動二付届出控** 大 1冊 天保2年(1831)写 並 *写本。仮綴。表紙に「天保貳年／卯ノ八月」とあり。後表紙に「大岡」と墨書。(1-203)
- 157 **吉川興経公覚書** 大 1冊 少虫 *写本。後見返に「財間姓蔵書」と墨書。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-206)
- 158 **信好先生葬礼之覚書** 大 1冊 虫損 *写本。仮綴。後表紙欠。信好先生喪葬礼一途大概(巻首題)。(1-832)

J 日誌

- 159 **太政官日誌** 半 36冊 慶応4年(1868)刊 京都／村上勘兵衛、井上治兵衛刊 *第一～第五(3月)、第六～第八(3月)・第九～第十(4月)、第十一(4月)・第十二～第十五(閏4月)、第十六～第二十(5月)、第二十一～第二十五(5月)、第二十六～第三十(六月)、第三十一～第三十五(6月)、第三十六～第三十七(6月)・第三十八～第四十(7月)、第四十一～第四十五(7月)、第四十六～第四十七(7月)・第四十八～第五十(8月)、第五十一～第五十五(8月)、第五十六～第六十(8月)、第六十一～第六十五(八月)、第六十六～第七十(八月)、第七十一

- ～第七十二（八月）・第七十三～第七十五（九月）。第七十六～第八十（九月）、第八十一（ここから明治元年）～第八十五（九月）、第八十六～第九十（九月）、第九十一～第九十五（九月）、第九十六～第九十八（九月）・第九十九～百（十月）、第一百一～百五（十月）、第一百六～第一百十（十月）、第一百一～第一百五（十月）、第一百六～第二十（十月）、第二十一～第二十五（十月）、第二十六～第三十（十月）、第三十一～第三十五（十一月）、第三十六～第四十（十一月）、第四十一～第四十五（十一月／第四十一～第四十三は「函館賊艦事件一～三」）、第四十六～第五十（十一月）、第五十一～第五十五（十一月）、第五十六～第五十九（十一月）・第六十（十二月）、第六十一～第六十五（十二月）、第六十六～第七十（十二月）、第七十一～第七十五（十二月）、第七十六～第七十八（十二月）の36冊。前見返・巻尾に「奥邑氏」（または「奥村氏」と墨書。第18冊・第34冊～第36冊の背小口に「由宇市 奥村（邑）氏」と墨書。[1-687～723]
- 160 **太政官日誌** 半 15冊 明治2年（1869）刊 京都／村上勘兵衛、井上治兵衛刊 * 第一号～第五号（1月1日～12日）、第六号～第十号（1月12日～28日）、第十一号～第十五号（1月28日～2月9日）、第十六号～第二十号（2月10日～18日）、第二十一号～第二十五号（2月18日～24日）、第二十六号～第三十号（2月26日～3月5日）、第三十一号～第三十五号（3月5日～14日）、第三十七号～第四十号（3月20日～4月6日、但し表紙外題には「自第卅八至第四十」とあり）、第四十一号～第四十五号（4月7日～23日）、第四十六号～第五十号（4月24日～5月15日）、第五十一号～第五十五号（5月16日～23日）、第五十六号～第六十号（5月23日～6月2日）、第六十一号～第六十五号（6月2日～15日）、第六十六号～第七十号（6月17日～30日）、第七十一号～第七十三号（6月30日）の15冊。前見返と巻尾に「奥村氏」（または「奥邑氏」）、背小口に「由宇市 奥邑氏」と墨書。[1-724～738]
- 161 **江城日誌** 半 3冊 慶応4年（1868）刊 京都／村上勘兵衛、井上治兵衛刊 * 太政官翻刻頒行本。第一號（5月5日）～第五號（5月16日）、第六號（5月17日）～第十號（5月25日）、第十一號（5月26日）～第十五號（5月）の3冊。前見返・巻尾に「奥邑氏」、背小口に「由宇市 奥邑氏」と墨書。[1-663～665]
- 162 **東巡日誌** 半 1冊 明治元年（1868）刊 京都／村上勘兵衛、井上治兵衛刊 * 第一号（明治元年9月）1冊のみ存。前見返に「奥村氏」、巻尾に「奥邑氏」、背小口に「由宇市 奥邑氏」と墨書。[1-666]
- 163 **鎮臺日誌** 半 2冊 京都／村上勘兵衛、井上治兵衛刊 * 太政官翻刻頒行本。第一（6月1日～7日）～第六（7月4日～6日）、第七（7月9日～10日）～第十二（7月23日～27日）の2冊存。前見返に「奥村氏」、巻尾に「奥邑氏」、背小口に「由宇市 奥邑氏」と墨書。[1-667～668]
- 164 **鎮将府日誌** 半 1冊 慶応4年（1868）刊 京都／村上勘兵衛、井上治兵衛刊 * 太政官翻刻頒行本。第一（7月17日～8月5日）～第三（8月5日～8日）の1冊。前見返に「奥村氏」、巻尾に「奥邑氏」、背小口に「由宇市 奥邑氏」と墨書。[1-669]
- 165 **公議所日誌** 半 5冊 明治2年（1869）刊 京都／村上勘兵衛、井上治兵衛刊 * 第一～第五（3月）、第六～第十（4月）、第十一（4月）・第十二～第十四（5月）、第十五～第十六（5月）、第十七（5月）・第十八～第十九（6月）の5冊。前見返と巻尾に「奥村氏」（または「奥邑氏」）、

背小口に「由宇市 奥邑氏」と墨書。[1-670~674]

- 166 **議案録** 半 1冊 明治2年(1869)刊 京都/村上勘兵衛、井上治兵衛刊 *第一(明治2年3月)・第二~第五(4月)、第六~第七(5月)の1冊。前見返に「奥村氏」、巻尾に「奥邑氏」、背小口に「由宇市 奥邑氏」と墨書。[1-675]

K 年代記

- 167 **岩国年代記** 半 1冊 疲 *写本。仮綴。前見返に「慶長より文化迄/二百十三年」、「千石原/蔵廻氏」、後表紙に「慶長年間ヨリ文化年ニ至ル凡ソ二百十三年/岩国年代記」と墨書。[1-62]

L 雑記・抜書・草稿

- 168 **視聴随筆記事珠** 半 1冊 虫損・疲 *写本。外題は「視聞随筆記事珠」とあり、「聞」の字を朱で「聴」に訂正し、「視聞随筆」の四文字に抹消線あり。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-16]
- 169 **幕末覚書** 横長 1冊 *写本。仮綴。折紙綴。安政7年(1860)3月3日桜田門外の変に関する御届状から始まる。[1-149]
- 170 **余暇之楽** 大 1冊 明治20年(1887)記 疲・汚 *写本。仮綴。末尾に「先君文恭公墓誌銘」あり。種々雑多な書き付けを綴じ合わせたもの。[1-159]
- 171 **規則/責善学会** 他 大 1冊 明治25年(1892)記 財間栄記 *写本。仮綴。表紙と本文1丁のみ。その後、漢文「祝錦見小学受勲賞」2丁、「観梅記」2丁、漢詩草稿12丁あり、以下「雑文集」として表紙と本文3丁あり。いずれも財間栄作。表紙に「明治廿五年五月」と墨書。[1-157]
- 172 **野稿** 他 財間栄記 大 1冊 疲・汚 *写本。仮綴。「野稿」(財間栄)表紙と本文6丁、無題草稿6丁、同14丁(履歴書2丁を含む)。[1-158]

M 印章

- 173 **考古印説** 大 1冊 文政6年(1823)写 虫損 *写本。後見返に「文政六年癸未十一月日」とあり。[1-6]

N 外国史・外国地誌

- 174 **三韓紀略** 伊藤長胤(東涯)輯 半 1冊 樋口文礼写 少虫 *写本。宝永元年(1704)伊藤長胤自序。奥書に「壬子四月朔謄写始業十六日畢功 文礼」と朱書。「壬子」は寛政4年(1792)。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-72]
- 175 **倭漢紀元録 伊藤長胤彙集** 半 1冊 寛政4年(1792)写 虫損 *写本。元奥書に「原本享保丙午九月浄写 宝暦甲申新写校訂」(「享保丙午」は11年<1726>、「宝暦甲申」は14年<1764>)、後見返に「寛政壬子三月写」(朱)・「修古堂蔵書」とあり。「寛政壬子」は4年(1892)。[1-15]
- 176 **落穂集** 知足軒友山著 大 1冊 疲・浸 *写本。5巻1冊。題簽剥落につき外題欠。資料名は巻首題による。巻尾に「于時享保十二孟春 知足軒友山八十九歳誌之/判」(享保12年は1727年)と奥書あり。[1-332]

9. 地 理

A 地 理

177 **日本地名箋** 西野古海編輯 小 2冊 明治7年(1874)官許 東京/山口屋藤兵衛、大坂屋藤助、丸屋正五郎刊 *上・下2分冊。明治8年(1875)櫻春雄序。上冊は題簽剥落により外題直書。「黒杭寛印」印(巻首)。大日本地名箋(巻首題)、地名箋(巻尾題)、皇國地名箋(柱題)。[1-846~847]

B 地 誌

178 **皇国郡名志** 桂華圓編輯 中 1冊 京都/堺屋仁兵衛、大坂/伊丹屋善兵衛・近江屋平助・河内屋忠七、名古屋/菱屋藤兵衛・菱屋平兵衛、東京/須原屋茂兵衛・山城屋佐助・須原屋新兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋市兵衛・和泉屋金右衛門・須原屋伊八・椀屋喜兵衛刊 *下1冊のみ存。前見返に「木村岡代」、巻尾に「大岡昇」と墨書。「岩国藩庁之印」印(前見返)。他にも印あり。[1-94]

179 **江戸繁昌記** 静軒居士著 半 6冊 天保3年(1832)~7年(1836)刊 *刊記なし。見返題によれば、第1冊「天保三年新鑄」、第2冊(二篇)「天保五年新鑄」、第3冊(三篇)「天保五年新鑄」、第4冊(四篇)「天保六年新鑄」、第5冊(五篇)「天保七年新鑄」。以上5冊、見返題に「克己塾蔵板」とあり。第6冊は外題「繁昌記 六篇」とあり、見返題なし、巻首題は「繁昌後記初篇」、巻尾題は「江戸繁昌後期初篇」。[1-98~99, 105~106, 176~177]

180 **〔東京〕開化繁昌誌 初編** 萩原乙彦著、三木光斎画 半 1冊 東京/萬青堂刊 *初編巻之上1冊のみ存。外題欠。資料名は見返題による。巻首に未判読蔵書印あり。東京開華繁昌誌第初編(とうきやうかいくわはんじやうしだいしよへん)(巻首題)、東京開化繁昌誌第初編(巻尾題)、東京繁昌誌(柱題)。[1-834]

181 **東京新繁昌記** 服部誠一著述 半 5冊 明治7年(1874)刻成 東京/山城屋政吉発行 *初編~六編までのうち、初編、二編~五編の5冊存。見返題に「東京 奎章閣発兌」とあり。初編は4月、二編は6月、三編は8月、四編は10月、五編は12月刻成。[1-288~292]

182 **備陽政事記** 半 1冊 文化4年(1807)写 樋口豊(義所)写 虫損 *写本。表紙後補。題簽剥がれ。寛文8年(1668)海西隠士序、寛文7年(1667)野人序。奥書に「右止敬君所書写也 當謹珎蔵文化丁卯初秋装釘了 修古堂豊謹誌(文化丁卯は4年(1807))とあり。「大岡蔵書」印(元表紙)。備陽記聞書(序題)、備陽記聞(序題)、備前国政之聞書(巻首題)。[1-56]

183 **西国順礼道中 金毘羅道中 ひとり案内** 横 1冊 *仮綴。後表紙欠。末尾に脱落あるか。表紙に「京都より道順/みのゝ国谷ぐみ寺まで」・「并にはりま名所めぐり」とあり。「京都/五条通/大橋東詰/ます吉」印(表紙)。「龍文堂」印(表紙・巻首)。[1-57]

184 **西国順礼旅雀(さいこくじゆんれいたびすゝめ)** 横 1冊 天保7年(1836)再刻 京都/平野屋茂兵衛刊 疲 *外題は後補題簽に「〔西国〕順礼旅雀」と直書。資料名は見返題による。宝暦4年(1754)原版の再刻。西国三十三所巡礼縁起(巻首題)。[1-243]

185 **浪花講定宿帳** 横 1冊 *浪花講 定宿帖。巻首に「発起人/松屋源助」による「口演」、「講元 松屋甚四郎」による序あり。巻尾に「京都定宿 松や吉兵衛」による跋あり。[1-58]

10. 政治・法制

A 政治

- 186 **裁錦** 半 1冊 虫損 *写本。文化7年(1810)男豊序。[1-10]
- 187 **野芹** 大 1冊 虫損 *写本。上・中・下3巻1冊。「大岡蔵書」印(巻首)。前見返に未判読蔵書印あり。[1-208]
- 188 **建言書** 朝枝源次郎(信好)著 大 1冊 浸・少虫 *写本。仮綴。表紙に「信好先生ヨリ御政道ノ儀ニ付 御前へのぞみ加しノ書面と相見也」とあり。資料名は仮につけたもの。巻首に「御政道向之儀ニ付、存寄候所、何ニ不限、申ノ上候、其儘出し付る、誠ニ是非之辨をも不存、左之通申上候」とあり。巻尾に「卯九月廿七日 朝枝源次郎」と署名あり。朱点あり。[1-829]
- 189 **〔頼復校訂〕通議** 頼襄子成(山陽)著 中 3冊 明治9年(1876)出版 *上・中・下3巻3冊。明治9年(1876)宮原龍序。「長重蔵書」印(巻首)。「校訂」通議(見返題)、「通議」(目次題・巻首題・巻尾題・柱題)。[1-452~453]

B 法制

- 190 **明律考** 荻生徂徠著 大 1冊 *写本。「大岡蔵書」印(前遊紙)。「修畏軒図書」印(前見返)。[1-40]
- 191 **明律国字解** 荻生徂徠著 大 2冊 *写本。外題に「明律国字解 卷二 四」と「明律国字解 卷四」とあり。前者は「明律卷二国字解 四」「明律卷三国字解」から成り、後者は「明律卷四国字解上」「明律卷五国字解」「明律卷六国字解」から成る。後見返に「樋口」と墨書。「樋口孫印」印(巻首)。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-44~45]
- 192 **本朝官制沿革図考** 伊藤長胤(東涯)著 大 1冊 少虫 *写本。6巻1冊。正徳4年(1714)伊藤長胤序。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-19]
- 193 **御成敗式目** 大 1冊 明治3年(1870)写 *写本。仮綴。外題に「御成敗式目 一」とあり。奥書に「明治三年午極月書之ノ行歳六十七歳筆ノ磐留盛往書」とあり。表紙に「原田藤右衛門」、後表紙に「原田姓」「大岡」と墨書。[1-201]
- 194 **人沙汰** 大 1冊 少虫 *写本。巻尾に「萬治三子ノ九月十四日ノ榎本遠江ノ堅田安房ノ益田孫左エ門ノ毛利隠岐ノ毛利主膳」(万治3年は1660年)と署名あり。後見返に「上紙共に六拾五枚」とあり。人沙汰之法(巻首題)。[1-803]
- 195 **人沙汰法写** 大 1冊 寛政7年(1795)写 重兵衛写 虫損 *写本。仮綴。巻尾に「萬治三子ノ九月十四日 榎本遠江ノ堅田安房ノ益田孫左エ門ノ毛利隠岐ノ毛利主膳」(万治3年は1660年)と署名あり。奥書に「寛政七年ノ乙卯ノ二月十四日中重写之」、「持主重兵衛」とあり。人沙汰法(巻首題)。[1-802]
- 196 **六拾四ヶ條御肩書御書出物 写** 大 1冊 寛延4年(1751)写 徳兵衛写 虫損・破(表紙) *写本。仮綴。表紙に「宝永三戌ノ五月朔日」(1706)と墨書(宝永3年は1706年)。奥書に「于時ノ寛延四未ノ四月中旬ノ玉倫播磨寺寫之ノ持主徳兵衛」とあり。[1-794]
- 197 **品定御書附写** 大 1冊 文政8年(1825)写 信順坊写 *写本。仮綴。奥書に「于時文政

八酉ノ正月中旬写之／信順坊七拾五歳ニ而書之／他見用捨有へし」とあり。表紙に「庄屋／原田重郎左衛門」、下小口に「原田」、後表紙に「大岡」と墨書。〔1-204〕

198 **宗門御請状・御検見御作法 集控** 大 1冊 万延元年（1860）写 *写本。仮綴。表紙に「安政三辰ノ三月」とあり（安政3年は1856年）。奥書に「万延元年／申ノ／八月写」とあり。表紙に「原田姓」、後表紙に「大岡」と墨書。〔1-202〕

199 **改置府県概表** 大蔵省編纂 半 1冊 明治4年（1871）新刊 北畠茂兵衛刊 *巻首に淡彩色地図折込。巻尾に「明治五年壬申二月十四日改」（明治5年は1872年）とあり。明治4年（1871）凡例。朱筆書入あり。〔1-754〕

200 **違式註違** 大 1冊 *写本。仮綴。巻頭に「明治十年五月十七日山口縣大書記官木梨信一」（明治10年は1877年）名の布告あり。後表紙に「律令記」「中屋貢」とあり。違式註違條例（巻首題）〔1-809〕

201 **往来手形** 1枚 虫損・浸 *一枚物。表書きに「元禄三年／往来手形」とあり。元禄3年（1690）8月17日付。発行元に「防州岩国／龍門寺／宥應（花押）」とあり。〔1-826〕

C 軍事

202 **三兵答古知幾 前編** 泄風埜結爾（独）著、抜風般蒲格（蘭）蘭訳 大 13冊 虫損 *写本。前編20巻のうち巻之一、二・三、四・五、六、七、八・九、十、十一、十四、十五、十六、十七・十八、十九・二十の13冊存（巻之十二・十三欠）。第1冊巻首に「埜氏三兵答古知幾標題解」・「訳埜氏三兵答古知幾之序」（和蘭 抜風般蒲格識）・「埜氏三兵答古知幾自序」（忽屈独逸 泄風埜結爾識）・「埜氏三兵答古知幾例言」を置く。埜氏三兵答古知幾前編（巻首題・巻尾題）。〔1-516～528〕

D 名鑑

203 **雲上便覧大全** 池田東園編 横 1冊 慶応4年（1868）増補改正 江戸／須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、大阪／河内屋喜兵衛、河内屋和助、尾張／永楽屋東四郎、京都／村上勘兵衛、永田調兵衛、田中屋専助、吉野屋甚助、林芳兵衛、丁子屋源次郎、越後屋治兵衛、竹原好兵衛刊 *年次不記無記名序。年次不記池田東園跋。嘉永5年（1852）初版。〔1-492〕

204 **列藩一覽** 横 1冊 慶応4年（1868）刊 京都／村上勘兵衛、井上治兵衛刊〔1-493〕

205 **〔改正〕広徳武鑑** 横 1冊 明治2年（1869）刊 京都／出雲寺文次郎、須原屋平エ門刊 *御國分武鑑（刊記題）〔1-494〕

206 **新撰和漢書画一覽** 横 1冊 天保6年（1835）六刻 京都／中川藤四郎、北村四郎兵衛、北村多助、大阪／渋川清右衛門、柳原喜兵衛、森本多助、浅井吉兵衛、鷲頭辰三郎、吉田善蔵、江戸／須原茂兵衛刊 *天保6年（1835）鳴鶴書舗凡例。天明6年（1835）原刻。和漢書画一覽（見返題）、〔新撰〕和漢書画一覽（巻首題）〔1-495〕

11. 経 済

207 **銭形請払帳** 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永四年亥八月廿二日より」（嘉永4年は

- 1851年)「蔵廻長兵衛殿」とあり。[1-416]
- 208 銭請拂帳 大 2冊 疲 *写本。仮綴。1冊目表紙に「安政三年／辰八月より 蔵廻長兵衛殿」(安政3年は1856年)とあり。2冊目表紙に「安政三年辰」「三入九右衛門」とあり。[1-417]
- 209 手形扱 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永二年酉八月二十二日」(嘉永2年は1849年)とあり。[1-418]
- 210 手形扱 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永三年戌八月廿二日より」(嘉永3年は1850年)とあり。[1-419]
- 211 手形扱 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永五年子八月廿二日」(嘉永5年は1852年)「蔵廻長兵衛殿」とあり。[1-420]
- 212 手形扱 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永六年丑八月廿二日」(嘉永6年は1853年)「蔵廻長兵衛殿」とあり。[1-421]
- 213 米銀借用方差引帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永二年酉ノ暮より／同三年戌暮迄」(嘉永2年は1849年、同3年は1850年)とあり。[1-422]
- 214 米銀借用方差引帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永三年戌暮より／同四年亥ノ暮迄」(嘉永3年は1850年、同4年は1851年)とあり。[1-423]
- 215 米銀借用差引帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永四年亥暮より／同子ノ暮迄」(嘉永4年は1851年)「蔵廻長兵衛」とあり。[1-424]
- 216 米銀借用差引帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永六丑暮より／寅暮迄」(嘉永6年は1853年)とあり。[1-425]
- 217 米銀借用差引帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永七年寅ノ暮より／卯ノ暮迄」(嘉永7年は1854年)「蔵廻長兵衛殿」とあり。[1-426]
- 218 錦見御蔵附廻帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永七年寅ノ八月廿二日より」(嘉永7年は1854年)「悉机又右衛門殿／田村虎之介殿／蔵廻長兵衛殿」とあり。[1-427]
- 219 御作事組／公借利留嚙井出割上米小日記 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永三年戌ノ八月廿二日」(嘉永3年は1850年)とあり。[1-428]
- 220 御作事組／公借利留嚙井出割上米小記 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永四年亥八月廿二日」(嘉永4年は1851年)とあり。[1-429]
- 221 御作事組／戌之秋より亥ノ夏迄勤渡惣物當 大 1冊 疲 *写本。仮綴。「戌」は嘉永3年(1850)、「亥」は嘉永4年(1851)であろう。[1-430]
- 222 御作事組／亥之秋御馳走米并朱役米小日記 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永四年亥ノ八月廿二日」(嘉永4年は1851年)とあり。[1-433]
- 223 御作事組／子之秋御馳走米并朱役米小日記 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永五年子ノ八月廿二日」(嘉永5年は1852年)とあり。[1-431]
- 224 御作事組／丑之秋御馳走米并朱役米小日記 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永六年丑ノ八月廿二日」(嘉永6年は1853年)とあり。[1-432]
- 225 御作事組／卯ノ秋御馳走米并朱役米小日記 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「安政二年卯ノ八月廿二日」(安政2年は1855年)とあり。[1-434]

- 226 御作事組江勘渡米請取申通 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永貳年酉八月廿二日」(嘉永2年は1849年)、「斎藤九左衛門殿／河上淑之介殿」、「蔵廻長兵衛(花押・印)」とあり。〔1-435〕
- 227 御作事組江勘渡米請取申通 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永三年戌八月廿二日」(嘉永3年は1850年)、「玉井俊三郎殿／河岡仙次郎殿」、「蔵廻長兵衛(花押・印)」とあり。〔1-436〕
- 228 御作事組江勘渡米請取申通 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「嘉永四年亥八月廿二日」(嘉永4年は1851年)、「大屋徳助殿／宇野金太郎殿」蔵廻長兵衛(花押・印)とあり。〔1-437〕
- 229 御作事組江勘渡米請取申通 大 2冊 疲 *写本。仮綴。第1冊目表紙に「嘉永六年丑八月廿二日」(嘉永6年は1853年)、「内藤次郎兵衛殿／井下柳助殿」、「蔵廻長兵衛(花押・印)」とあり。第2冊目表紙は宛先が異なり「森脇多助殿／宇野金太郎殿」とあり。〔1-438〕
- 230 御作事組江勘渡米請取申通 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「安政二年卯ノ八月廿二日」(安政2年は1855年)、「川にし分／佐伯小四郎殿／二宮権右衛門殿」、「三入九右衛門(花押)／蔵廻長兵衛(花押・印)」とあり。〔1-439〕
- 231 御作事組江勘渡米請取申通 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「安政四年巳八月廿二日」(安政4年は1857年)、「井上前左衛門殿／東伊八殿」、「桃井小八郎(花押・印)」とあり。〔1-440〕
- 232 酉之秋より戌之夏迄勘渡米帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。勘渡米帳。表紙に「嘉永二年酉八月廿口口日より」、「地三拾六人／萩七人／全四拾口人」、「蔵廻長兵衛」とあり。「酉」は嘉永2年(1849)、「戌」は嘉永3年(1850)。〔1-441〕
- 233 戌ノ秋より亥ノ夏迄勘渡米帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。勘渡米帳。表紙に「嘉永三年戌ノ八月廿二日より」(嘉永3年は1850年)、「地三拾六人／萩七人」、「蔵廻長兵衛」とあり。「戌」は嘉永3年、「亥」は嘉永4年(1851)。〔1-442〕
- 234 丑之秋より寅之夏迄勘渡米帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。勘渡米帳。表紙に「嘉永六年丑ノ八月廿二日より」(嘉永6年は1853年)、「地三拾五人／萩七人／四拾式人」、「蔵廻長兵衛(花押)」とあり。「丑」は嘉永6年(1853)、「寅」は嘉永7年(1854)。〔1-443〕
- 235 寅之秋より卯之夏迄勘渡米帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。勘渡米帳。表紙に「嘉永七年寅ノ八月廿二日より」(嘉永7年は1854年)、「地三拾四人萩七人全四拾壱人」、「蔵廻長兵衛」とあり。「寅」は嘉永7年(1854)、「卯」は嘉永8年(1855)。〔1-444〕
- 236 卯之秋より辰之夏迄勘渡米帳 大 1冊 疲 *写本。仮綴。勘渡米帳。表紙に「安政二年卯ノ八月廿二日より」(安政2年は1855年)、「地三拾四人萩七人全四拾口人」とあり。〔1-445〕
- 237 綿切手 1枚 *一枚物。断簡。〔1-491〕

12. 教 育

A 教 育

- 238 升堂圖解 大 1冊 文政7年(1824)新鐫 *文政7年(1824)蔓園主人(横山晴和)序・跋。見返題に「蘭堂蔵」とあり。淡彩色絵入。〔1-852〕
- 239 啓蒙知恵乃環 瓜生寅(於菟子)訳述 中 1冊 明治7年(1874)改正 東京／牧野吉兵衛、山中市兵衛、蓑田精三郎刊 *明治5年(1872)文部少丞長茨序。明治5年(1872)新雕本の改正版。

[啓蒙] 智慧乃環 (見返題)。[1-787]

240 山縣先生教授 軽体操筆記 小 1冊 *写本。包背装。表紙に「末永(印)」と墨書。[1-810]

B 教訓

241 楠正成壁書 大 1冊 疲 *写本。仮綴。[1-163]

242 今川了俊愚息仲秋制詞之條々 今川了俊伝 大 1冊 疲・汚 *写本。仮綴。後表紙裏に「天保二年／卯極月十二日／中屋伊兵衛」(天保2年は1831年)と墨書。[1-806]

243 孝行和讃 大 1冊 天保6年(1835)写 平之丞写 浸・虫損 *写本。仮綴。奥書に「右天保六乙未五月十二日清書也／阿品村主／平之丞」とあり。[1-241]

244 三省録 志賀理斎(忍)著、原得斎(義胤)補訂 大 3冊 天保14年(1843)新鐫 *全5冊のうち第1冊、第3冊、第4冊の3冊存。天保13年(1842)原得斎序、天保3年千賀伯寧序。見返題に「潤身堂蔵板」とあり。[1-246~248]

245 実語教・童子教 大 1冊 疲・汚 *写本。仮綴。前後表紙欠。巻尾に「中屋ノ亀吉」、「庚安政申七年三月晦日／中屋亀吉」(安政7年は1860年庚申)等と墨書。[1-805]

246 実語教・童子教 半 1冊 大坂／糸屋市兵衛刊 疲・浸 *仮綴。前表紙及び巻首に欠落あり。後補後表紙に「文久二壬戌／孟夏上旬記」(文久2年は1862年)云々と墨書。[1-800]

C 往来物

247 [天保新鐫] 増補寺子用文章 荑楊斎関牛(葩関牛)著、竜章堂美暢(西川竜章堂)書、成章館庸行校 半 1冊 天保6年(1835)刊 浪華／大野木實文堂秋田屋市五郎蔵版 疲 *増補寺子用文章(見返題・目録題)。[1-798]

248 交通用文 大 1冊 *巻首・巻尾欠。外題は後補表紙(仮表紙)に直書。柱刻に「交通用文」とあり。巻頭に銅版印刷三段組の百科知識集あり(但し冒頭2丁欠)。本文は巻頭8丁欠、145丁以下欠。裏表紙に「所有者／角菊次郎」と墨書。明治23年(1890)刊藤谷暢吾著「[普通作文] 交通用文」(大阪／岡本仙助発売)と思われる。[1-686]

249 [萬民活益] 増訂明治公民用文 福井淳著、八木外茂雄増訂 半 1冊 明治35年(1902)増訂発行 大阪／積善館本店刊 *和装活字本。坤1冊のみ存。附録「言文一致男生用文」(足立栗園著)を付す。明治22年(1889)初版本の増訂版。前見返に「小瀬村表西組／帳簿記録覚／嘉屋正治」と墨書。[龍頭作文類語] 増訂明治公民用文(柱題)。[1-823]

250 庭訓往来 大 1冊 虫損・汚 *写本。外題欠。扉題に「庭訓往来(ていきんをふら)」とあり。資料名は扉題による。扉に「石原邑」「中屋／重平」、後表紙に「中屋／重平」と墨書。[1-811]

251 庭訓往来 大 1冊 少虫 *写本。仮綴。後見返に「子二月十五日書之」と墨書。表紙に「中屋」「善五良」と墨書。[1-817]

252 商売往来 半 1冊 疲・少虫 *写本。仮綴。表紙後補。表紙に「石原邑」「中屋御内」等と墨書。後見返に「天保四歳巳二月十二日」(天保4年は1833年)、「石原村」、「周防大島郡屋代村畑いしはら」等と墨書。[1-819]

253 商売往来 大 1冊 破・汚 *写本。仮綴。外題欠。資料名は扉題・巻首題による。扉に「天

- 保七申極月」(天保7年は1836年)、「中屋／徳五郎」と墨書。〔1-818〕
- 254 **商売往来** 大 1冊 少虫 *写本。仮綴。表紙に「中屋／伝五郎」と墨書。巻尾に「中屋伝五郎」、「中屋寅吉」と墨書。〔1-820〕
- 255 **消息往来** 大 1冊 疲・浸・少虫 *写本。仮綴。外題には「消息往来 二」とあり。後見返に「明治六年五月十六日調」(明治6年は1873年)とあり。表紙に「寫之門人」、「中本松次郎」と墨書。〔1-816〕
- 256 **東京往来** 大 1冊 明治14年(1881)写か 破 *写本。仮綴。表紙に「明治十四年」、「中本」と墨書。〔1-804〕
- 257 **笑草** 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「享保十五／三月吉日」(享保15年は1730年)と墨書。〔1-801〕
- 258 **初登山** 大 1冊 享和2年(1802)写 中元幾太郎写 虫損 *写本。巻首に「手習い／教訓書」とある。奥書に「享和貳年壬戌二月九日書之」とあり。後見返に「明治三年庚午ノ極月十三日／中元幾太郎跡此」(明治3年は1870年)、「中元幾太郎習此」、「中元幾太郎相せらる也」と墨書。〔1-796〕
- 259 **天神教訓状** 大 1冊 文政14年(=天保2年)写か 虫損 *写本。巻尾に「文政十四卯年(以下墨消)」とあり(ただし文政13年に天保に改元)。〔1-242〕
- 260 **教民の詞** 大 1冊 浸 *写本。表紙に「中屋」、扉に「中本」、後見返に「中元／松風軒」と墨書。〔1-795〕
- 261 **国名集** 大 1冊 少虫・皴 *写本。仮綴。表紙に「此主／畑村重八郎(墨印)」と墨書。〔1-821〕
- 262 **村名録** 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「中本恵治」と墨書。〔1-789〕
- 263 **村名録** 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「寫之門人 中本吉助」と墨書。後表紙に墨で落書。〔1-792〕
- 264 **寺名づくし** 大 1冊 疲・汚 *写本。仮綴。厚紙で後補された外表紙に外題直書。後に「頼母子証書之事」を付す。岩国の寺院名を列記したもの。〔1-178〕
- 265 **苗字尽** 大 1冊 疲 *写本。仮綴。表紙に「中本恵治」と墨書。〔1-790〕
- 266 **人名録** 大 1冊 少虫・浸 *写本。仮綴。表紙に「中本恵治」と墨書。〔1-793〕
- 267 **草書訪訊** 大 1冊 *写本。仮綴。表紙に「隆海(印)」と墨書。巻尾に「中本衞次郎／什物」云々、後見返に「山口縣周防国／大島郡東屋／代村石原村／中本重一ノ物」、「第一大区第八小区／東八代村石原」、後表紙に「山口縣周防国大島郡東八代村／此主 中本章一」と墨書。「中本之章」印(表紙)。〔1-813〕
- 268 **手本** 大 1冊 明治5年(1872)写 *写本。仮綴。巻尾に「明治五壬申正月口日」と墨書。表紙に「中本松治郎」、扉に「寫之門人」・「中本松次郎」と墨書。人名頭字(扉題)。〔1-814〕
- 269 **手本** 大 1冊 少虫 *写本。仮綴。表紙に「茂八(墨印)」と墨書。手紙文の手本。〔1-815〕

13. 植 物

- 270 **居易堂名花譜** 半 1冊 寛保2年(1742)刊 虫損 *写本。表紙に「寛保壬戌秋尽日始業」と朱書。「大岡蔵書」印(巻首)。名花譜(巻首題・巻尾題)。〔1-59〕

271 **名物六帖** 伊藤長胤（東涯）纂輯 半 1冊 虫損 *写本。「植物箋上 凡六問」のみ存。後見返に「樋口」と墨書。朱・墨の書入、朱字訂正あり。「大岡蔵書」印（表紙）。[1-60]

14. 医学

272 **医療重宝記** 横 1冊 安永9年（1780）刊 京／菊屋七郎兵衛、江戸／西村源六、大坂／柏原屋清右衛門刊行 疲・破 *外題は後補題簽に直書。巻尾に「大坂渋川称航堂柏原屋清右衛門」の「蔵板略目録」10丁あり。宝永6年（1709）芳菊堂本郷正豊序。医道日用綱目（見返題）、医道日用重宝記（序題）、医道重宝記（目録題、巻尾題）。[1-529]

273 **〔改正増補〕醫道日用綱目** 本郷正豊編 横 1冊 江戸／須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、岡田屋嘉七、京／菱屋孫兵衛、大坂／豊田屋卯左衛門、象牙屋治郎兵衛、秋田屋太右衛門、敦賀屋九兵衛、敦賀屋彦七刊 疲 *宝永6年（1709）芳菊堂本郷正豊序。醫道日用綱目（見返題）、醫道日用重宝記（いだうにちようてうほうき）（序題）、醫道重宝記（いだうてうほうき）（目録題）、醫道重宝記（巻尾題）。[1-752]

274 **眼科摘要** 朋百般黙児姪児法爾篤（蘭）鈔、佐藤舜海閱、倉次元意譯 大 9冊 慶応2年（1866）稟准（官許） 東京／英蘭堂島村利助・同支店刊 少虫 *9巻9冊。見返題・柱刻に「臨湖山房蔵」とあり。見返題に「初編」印あり。明治2年（1869）佐藤尚中序。明治元年（1868）倉次元意凡例。「村上蔵書」印（巻首）。館作成の目録データになし。ラベルには「通し番号6／分類番号4・D／項目番号833」とあり。

15. 産 業

A 農 業

275 **農業功者に問十箇条之事** 大 1冊 *写本。仮綴。表紙に「天保十二年丑ノ九月」（天保12年は1841年）「原田栄次左衛門」とあり。後表紙に「大岡」と墨書。[1-71]

B 建 築

276 **〔大工雛形〕秘伝書図解** 西村権右衛門図 半 1冊 享保12年（1727）刊 江戸／須原茂兵衛板 *外題欠。資料名は目録題による。巻尾に「大工雛形書目録」（須原屋茂兵衛蔵版）1丁あり。[1-84]

277 **新撰大匠雛形大全** 石井卯三郎、泉幸次郎著 半 4冊 明治30年（1897）発行 大阪／又間安二郎発行、大阪／田中宋栄堂専売 *二・三・四・六の4冊存。第2冊後見返に「周防岩国町／星出瀧槌主」、第3冊後見返に「周防岩国町／星出瀧槌／世に矩術の書数多在りと雖トモ未ダ真理を述る者見ず／故に是に解易き書を之を求」、第4冊後見返に「周防岩国町／星出瀧槌主」、第6冊前見返に「周防岩国町／星出瀧槌」と墨書。新撰大匠雛形（目録題・巻首題・柱題）。[1-85～88]

278 **〔匠家雛形〕増補初心伝** 横 1冊 *中二1冊のみ存。刊記なし。巻首・巻尾に「星出村一郎」と墨書。増補初心中（柱題）。[1-89]

16. 芸 術

A 絵 画

- 279 **花鳥画譜** 一筆庵主人著述 中 1冊 明治33年(1900)発行 大阪／又間精華堂刊 *大和綴。
〔1-181〕
- 280 **人物画譜** 一筆庵主人著述 中 1冊 明治33年(1900)発行 大阪／又間精華堂刊 *大和綴。
〔1-182〕
- 281 **絵本通宝志** 橘守国画 半 2冊 疲 *9巻10冊のうち巻三・巻四の2冊のみ存。「前原蔵書」
印(後見返)。〔1-363, 372〕

B 絵 本

- 282 **カチカチ山絵ばなし** 横 1冊 疲 *巻首・巻尾欠。淡彩色絵本。〔1-20〕

C 書 道

- 283 **復古編** 大 2冊 虫損 *写本。上・下2冊。正徳2年(1712)東都書舗松会堂引。「大岡蔵書」印(巻首)。臨池復古編(引題)。〔1-129~130〕
- 284 **草書淵海** 井出臥溪書 大 1冊 虫損 *4巻5冊のうち第1(序・凡例)のみ存。外題は後補題簽に直書。延宝3年(1675)田宗堅甫序(2種)。館作成の目録データになし。資料に付されたラベルは「花道聞書目録」〔1-8〕(本目録291)と同一。
- 285 **墨場必携** 市河米庵輯 中 6冊 天保7年(1836)刊 江戸／須原屋茂兵衛(千鐘房)・須原屋伊八(青藜閣)発行 *6巻6冊。天保7年(1836)林公序、同年佐藤坦序、同年山内晋跋。「有馬蔵書」印(各冊巻首)。その他各巻にまちまちの蔵書印あり。〔1-294~299〕
- 286 **五体墨場必携** 市河米庵著、市河三治輯 中 1冊 東京／松雲堂書店刊 *二1冊のみ存。天保12年(1841)山内晋跋。〔1-293〕
- 287 **〔文人墨客〕墨場必携** 市河米庵編纂 中 2冊 昭和6年(1931)十版 東京／松山堂出版 *和装活字本。天保7年(1836)佐藤一斎序、同年櫻字皷序。同年山内晋跋。大正5年(1916)初版発行。墨場必携(巻首題・巻尾題・柱題)。〔1-483~484〕

17. 諸 芸

A 茶 道

- 288 **茶道早学** 狩野宗朴著 中 6冊 明治17(1884)年出版 大阪／青木恒三郎出版、大阪／此村庄助・中川勘助発兌 *初編上・下2冊、二編上・下2冊、三編上・下2冊の6冊。明治16年(1883)三魚老人序(初編)、同年三洪学人順序(二編)、同年灌園居士序(二編)、明治17年(1884)孤月庵序(三編)。〔1-465~470〕
- 289 **煎茶早学** 竹軒楽人(上田虎之助)著 小 2冊 大正13年(1924)七版 大阪／前田文進堂刊 *和装活字本。上・下2巻2冊。箱入り。明治31年(1898)編者緒言。大正7年(1918)初版

本の七版。「長重蔵書」印（巻首）。「長操」印（上巻首）。[1-254, 256]

B 花 道

- 290 **古流活花十種伝花** 半 1冊 明治40年(1907)写か *写本。仮綴。奥書に「右当流依秘奥之傳猥活へからさる者也／明治四十年三月／寛裕齋宗白(印)」、「寛芳齋花彰／雅丈」とあり。[1-5]
- 291 **花道聞書目録** 半 1冊 明治40年(1907)写か *写本。仮綴。外題は「花道聞書目録」とあるが、「花道聞書目録」と「初伝六十一箇条聞書」を合綴したもので、各末尾に同一の奥書あり。前半は「花道聞書」とあるべきか(冒頭に目録あり)。奥書に「明治四十年三月／寛裕齋宗白(印)」、「寛芳齋花彰／雅丈」とあり。[1-8]
- 292 **〔挿花未生流〕千種之錦** 桃華斎滝甫、美生庵亮甫編 大 1冊 明治41年(1908)発行 大阪／肥原勝二刊 *上下2編のうち上編のみ存。明治41年(1908)無適齋渡邊公甫跋。[1-4]

C 占 ト

- 293 **卜筮早考** 小 1冊 明和8年(1771)刊 京都／著屋勘兵衛・舛屋源治郎・野田藤八、大坂／浅野彌兵衛、江戸／山寄金兵衛刊 *明和7年(1770)平澤子篤序。年次不記無署名跋。[1-150]
- 294 **〔聚類参考〕梅花心易掌中指南** 馬場信武述 半 3冊 疲・虫損 *5巻5冊のうち巻一・巻二・巻四の3冊存。但し巻一は落丁乱丁多し。聚類参考梅花心易掌中指南(巻首題・巻尾題)。[1-772~773, 799]

18. 武学・武術

A 兵 法

- 295 **〔活版〕兵家須知戦闘術門** 大 7冊 虫損 *和装活字本。7巻7冊。刊記なし。見返題に「丁卯春活刷」「明倫館蔵版」とあり。オランダの軍人Willem Jan Knoop著『Kort begrip der krijgskunst』を大村益次郎が訳したものとされる。兵家須知(見返題)。[1-530~536]

B 刀 劍

- 296 **新刃銘尽〔諸国新刃目利之書〕** 神田勝久(白龍子)編 大 4冊 虫損・浸 *全6冊のうち巻之一~四の4冊存。享保6年(1721)神田白竜子序。「前原蔵書」印(巻首)。新刃銘鑑(巻首題)[1-368~371]

漢籍・準漢籍の部

1. 経 部

A 五経類

- 297 【改正音訓】五経 後藤芝山点、男師周・孫師邵同校 大 11冊 文化10年(1813)再刻 京都／北村四郎兵衛、浪華／山内五郎兵衛(印)刊 * 「[改正音訓] 易経」乾・坤 [1-315~316]、「[改正音訓] 書経」天・地 [1-317~318]、「[改正音訓] 詩経」上・下 [1-319~320]、「[改正音訓] 禮記」元・享・利・貞 [1-308~309, 307, 310]、「[改正音訓] 春秋」[1-306] の11冊。刊記は「礼記」貞末にあり。見返題に「林家正本再刻」「芝山後藤先生定本」とあり。天明7年(1787)発兌の再刻本。文化9年(1812)佐藤坦序、寛政2年(1790)林信敬序。前見返(一部後見返)に「千ノ蔵廻性」、「詩経」下冊表紙裏に「嘉永七 八月朔日求之」(嘉永7年は1854年)「千石原ノ蔵廻熊次郎」等と墨書。「書経」天 [1-317] は入れ本。「書経」天に「蔵廻性」(前見返)、「河野氏」(前後見返)と墨書。後藤點五経(序題)、再刻五経(序題)。[1-306~310, 315~320]
- 298 【改正音訓】五経 後藤芝山点、男師周・孫師邵同校 大 11冊 文久3年(1863)六刻 京都／北村四郎兵衛、江戸／須原屋茂兵衛、浪華／山内蔵板 * 「易経」乾・坤、「書経」上・下、「詩経」上・下、「礼記」元・享・利・貞、「春秋」完の11冊。資料名は見返題による。題簽に「再刻後藤點」とあり。「易経」第1冊に見返題、「礼記」第4冊に刊記あり。寛政2年(1790)林信敬序、文化9年(1812)佐藤坦序。天明7年初刊。前後見返に墨書書入を墨塗り抹消の跡多し。「春秋」の巻首・巻尾に「宮市チタテ(印)／松田丹俊(印)」あり。「中本」印(各冊巻首)。後藤點五経(序題)、再刻五経(序題)。[1-774~776, 778~785]
- 299 【改正音訓】五経 後藤芝山点、男師周・孫師邵同校 大 11冊 文久3年(1863)六刻 京都／北村四郎兵衛、江戸／須原屋茂兵衛、浪華／山内蔵板 * 「易経」乾・坤、「書経」天・地、「詩経」乾・坤、「礼記」元・享・利・貞、「春秋」完の11冊。資料名は見返題による。「易経」第1冊に見返題、「礼記」第4冊に刊記あり。寛政2年(1790)林信敬序、文化9年(1812)佐藤坦序。後見返に「周東三丘ノ久行氏蔵書」と墨書(「礼記」第1冊・第4冊、「春秋」は前見返にあり)。「易経」第2冊前見返に「久行姓」、「書経」第2冊前見返に「熊毛郡ノ久行姓」、「詩経」第1冊前見返に「久行氏蔵書」と墨書。「久行蔵書」印(巻首・巻尾)。後藤點五経(序題)、再刻五経(序題)。[1-230~240]
- 300 易童子問 歐陽永叔撰 大 1冊 今田良佐写 虫損 * 写本。後補題簽は「易童子門」と誤る。奥書に「右易童子問一冊往年今田良佐自写所恵頃者閲書之次偶得之篋筒中人非物是豈無感乎固裝餽藏之云ノ宝曆丙子秋九月廿一日畏軒書」(宝曆丙子は6年(1756))とあり。朱点あり。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-32]
- 301 童子問標釈 伊藤長胤(東涯)集 大 1冊 寛保2年(1742)刊 京都／林権兵衛刊 虫損 * 見返題に「平安文泉堂蔵」とあり。「大岡蔵書」印(巻首)。「修畏軒図書」印(巻首)。[1-70]
- 302 易考異 伊藤東涯著 大 2冊 少虫 * 写本。2冊存。後補題簽に「巻之上」「巻下」とあるが不分巻。巻首題なし、巻尾題「東涯先生易説終」とあるが「説終」を消して「経傳義考異大尾」

- と朱書。朱点、朱引、朱・墨の書入あり。「大岡蔵書」印（巻首）。〔1-25～26〕
- 303 **読易私説** 伊藤長胤原蔵（東涯）著 大 1冊 虫損 *写本。巻末識語に「元禄庚辰臘月十七日京兆伊藤長胤原蔵甫識」（元禄庚辰は13年〈1700〉）とあり。朱点・朱引・朱訂正あり。「修畏軒図書」印（巻首）。「大岡蔵書」印（巻首）。〔1-55〕
- 304 **易図例卦変考** 伊藤東涯著 大 1冊 虫損 *写本。「読易図例」・「周易義例考」・「周易卦変考」から成る。「大岡蔵書」印。〔1-69〕
- 305 **〔再刻頭書〕書経集註** 蔡沈集伝 大 3冊 少虫 *6巻6冊のうち巻二・四・五の3冊存。巻五のみ後補題簽に外題直書。「大岡蔵書」印（巻首）。「秋田」印（巻首）。他未判読印1種（巻首）。次項と連れか。〔1-265～267〕
- 306 **〔再刻頭書〕書経集註** 蔡沈集伝 大 1冊 虫損 *巻之三1冊のみ存。「秋田」印（巻首）。他未判読印1種。前項と連れか。〔1-166〕
- 307 **書集伝** 大 1冊 虫損・疲・浸 *「書経上」1冊のみ存。外題は後補題簽に直書、序題を写したもの。嘉定2年（1209）蔡沈序。朱点、朱付訓、朱書入あり。「大岡蔵書」印（巻首）。〔1-28〕
- 308 **書纂言** 蘭成徳校訂 大 3冊 *写本。元（巻第一）・亨（巻第二・三）・貞（巻第四後半）の3冊存。康熙16年（1677）蘭成徳序。「大岡蔵書」印（巻首）。金文尚書纂言（序題）、書金文（目録題）、書（巻首題・巻尾題）〔1-54, 73～74〕
- 309 **書経反正** 伊藤長堅著 大 5冊 寛延2年（1749）写 虫損 *写本。6巻6冊のうち巻之一欠。巻尾に「瀉始延享戊辰閏十月廿九日終己巳三月十八日特在南国紀西宇治寄居 先生家塾」（延享戊辰は5年〈1748〉、同己巳は寛延2年〈1749〉）と奥書あり。朱筆、朱引、朱字訂正あり。「大岡蔵書」印（巻首）。〔1-137～140, 146〕
- 310 **詩経古言** 伊藤長堅著 大 4冊 少虫 *写本。4冊存（巻数表示欠）。〔1-21〕（大雅2巻）、〔1-22〕（大雅2巻）、〔1-23〕（小雅2巻）、〔1-83〕（小雅1巻・大雅1巻）。外題は後補題簽に「詩経古言巻」〔1-21～23〕、「詩経古言」〔1-83〕とあり。〔1-21～22〕の巻首題・巻尾題「詩経古言巻」、〔1-23〕の巻首題「詩経古言巻」・「詩経古言」・巻尾題なし、〔1-83〕の巻首題・巻尾題「詩経古言巻」。「大岡蔵書」印（巻首）。〔1-21～23, 83〕
- 311 **禮記** 大 2冊 少虫・疲 *30巻のうち第1冊（序・曲礼上第一～王制第五）・第2冊（月令第六～内則第十二）の2冊存。至治2年（1322）陳澹序。第1冊巻尾に「山口縣周防国玖珂郡／阿幾田酢檜太郎」、第2冊後見返に「穂田末太郎」と朱書。朱・墨の付訓、欄外書入あり。「秋田」印（巻首）。禮記集説（序題）。〔1-164～165〕 1-164～165 漢籍・経部・礼類・礼記 01.5-5
- 312 **士冠礼** 半 1冊 少虫 *写本。後見返に「樋口」と墨書。「大岡蔵書」印（巻首）〔1-17〕
- 313 **〔明治新刻〕春秋** 後藤點 村田海石書 大 1冊 *「岡本」印（巻首・巻尾）。他印1種。春秋胡氏伝（序題）、春秋（巻首題・巻尾題・柱題）。〔1-184〕
- 314 **春秋左氏伝** 大 6冊 虫損（補修済） *30巻15冊のうち一・二、三・四、十五・十六、十七・十八、二十五・二十六、二十九・三十の6冊存。刊記なし。一・二の表紙に「熊谷姓秘書」、第1冊前見返に「森木／河上氏」、第1冊後見返しに「森木／河上姓」と墨書。一・二、二十五・二十六には朱・墨の行間・欄外書入多し。「寒松舎片山氏蔵書」印（各冊前見返。「寒松舎」は岩国の片山流剣術第六代片山友猪之介久俊であろう）。〔1-259～264〕

- 315 **左伝補正** 半 1冊 文化7年(1810)写 樋口豊(義所)写 虫損 *写本。上・中・下合1冊。後見返に「文化七年庚午秋八月借時藤某本寫豊(「豊之印」印・「義所」印)」と奥書あり。「修古堂蔵書記」印(前見返)。「大岡蔵書」印(巻首)。左伝杜解補正(巻首題・巻尾題) [1-128]
- 316 **讀左伝杜解臆説** 大 1冊 *草稿本。文化12年(1815)樋口豊引。朱点、欄外書入あり。左伝杜解臆(巻首題)。[1-136]
- 317 **春秋左氏伝講義** 稲垣眞講述 半 4冊 大正2年(1913)発行 東京/興文社 *和装活字本。洋紙。袋綴ではない。全4冊。「少年叢書漢文学講義」十五編～十八編。朱字書入多し。「大岡蔵書」印(巻首)。「渡邊蔵書」印(巻首)。「徳本」印(題簽)。[1-169～172]
- 318 **春秋経伝通解** 伊藤維楨(仁齋)著 大 2冊 *写本。上・下2冊。上冊(論例・卷之一～四)、下冊(卷之五～)。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-77～78]

B 四書類

- 319 **〔文化新刻〕四書 道春點** 大 10冊 文化5年(1808)新刻 京都/吉田四郎右衛門、吉田屋新兵衛、吉田屋佐兵衛刊 疲 *全10冊。大学(全)、中庸(全)、論語(一～四)、孟子(一～四)から成る。見返題なし。資料名は推測書名。刊記に「岩崎卯之三郎蔵板」とあり。前見返または後見返に「本家/奥村性(墨印)」と墨書。[1-626～632, 739～741]
- 320 **〔新刻改正〕四書** 大 8冊 嘉永3年(1850)五刻 京都/北村四郎兵衛、江戸/須原屋茂兵衛、須原屋源助、浪華/山内五郎兵衛(印)刊 *「〔新刻改正〕論語」一～四 [1-314, 311, 313, 312]、「〔新刻改正〕孟子」一～四 [1-321～324]の8冊。刊記は「孟子」四末にあり。寛政6年(1794)発兌本の五刻。前見返(「論語」一のみ後見返)に「蔵廻性」「千石原/蔵廻性」と墨書。[1-311～314, 321～324]
- 321 **四書輯疏** 会津安娶(安部井娶)著 大 30冊 嘉永元年(1848)鐫 *序・引用諸家名氏・凡例、大学上・下(一～二)、中庸上・中・下(三～五)、論語(六～十五)、孟子(十六～二十九)から成る。天保15年(1844)古賀紫溟序、天保14年(1843)会津安娶自序。「前原蔵書」印(巻首)。四書訓蒙輯疏(見返題・序題・巻首題・巻尾題)。[1-385～414]
- 322 **四書字類大全** 宮島純熙編纂 中 3冊 明治16年(1883)版權免許 大阪/青木嵩山堂刊 *上(大学・中庸)・中(論語)・下(孟子)3冊。「長重蔵書」印(巻首)。[1-462～464]
- 323 **標註〔大学・中庸・論語・孟子〕読本** 稲垣真(衣白)標註、鹿島長次郎編輯 大 1冊 明治25年(1892)出版 東京/興文社石川書店刊 *和装活字本。洋紙。「学生必読漢文学全書」第壹編。明治25年(1892)衣白稲垣真自序。標註四書読本(見返題・序題・例言題)。[1-479]
- 324 **四書活解** 八木龍三郎(坳堂)著 小 1冊 明治43年(1910)発行 京都/中澤明盛堂発行 *洋装活字本。明治42年(1909)坳堂自序。[1-481]
- 325 **大学・中庸** 大 1冊 疲・汚 *外題欠。資料名は仮につけたもの。「大学」と「中庸」を合綴。柱題に「大魁四書集註」とあり。後見返に「戒善隆海」「文政十年/須内鹿祐(文政10年は1827年)」と墨書。「戒善寺」墨印(巻首)。資料番号のラベルなし。[1-812]
- 326 **舊本大学臆議** 吉村秋陽著 大 1冊 安政6年(1859)刊 広島/井筒屋勝二郎、江戸/山城屋佐兵衛、須原屋伊八、岡田屋嘉七、須原屋茂兵衛、京都/俵屋清兵衛、大坂/河内屋茂兵衛、

- 秋田屋太右衛門刊 *安政2年(1855)吉村晋自序、安政5年(1858)吉村駿跋。見返題に「浪華書房 岡田群玉堂/田中宋榮堂梓」とあり。「前原蔵書」印(巻首)。大学牘議(柱題)。[1-384]
- 327 **中庸發揮抄翼** 伊藤善韶(東所)著 大 1冊 文政6年(1823)写 解菴写 *写本。宝暦9年(1759)伊藤善韶序。後見返に「文政癸未歲冬十一月日於京師室坊客舎/解菴悉膳之(「解菴印)」(文政癸未は6年(1823))と奥書あり。朱点あり。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-141]
- 328 **論語直解** 半 1冊 虫損 *写本。「泰伯第八」・「子罕第九」の1冊のみ存。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-7]
- 329 **古義抄翼 論語** 伊藤善韶(東所)著 大 2冊 天明7年(1787)写 樋口文礼写 *写本。全4巻3冊のうち第2冊巻之二欠。第1冊;巻之一・論語学而第一〜里仁第四、第3冊;巻之三・先進第十一〜憲問第十四、巻之四・衛靈公第十五〜堯曰第二十。天明6年(1786)伊藤善韶自序。巻尾に「明和戊子正月廿三日下論稿完天明乙巳八月五日浄書畢(明和戊子は5年(1768)、天明乙巳は5年(1785))とあり。後見返に「天明七年丁未夏六月膳写功全樋口文礼」と奥書あり。「大岡蔵書」印(巻首)。「文礼之印」印(巻首)。次項と連れか。[1-75~76]
- 330 **古義抄翼** 伊藤善韶(東所)著 大 1冊 少虫 *写本。巻之二(論語「公治長第五」〜「郷黨第十」)1冊のみ存。巻尾に「明和乙酉五月九日上論草稿完天明乙巳五月十五日浄書畢/是日夏至距起草凡二十有一年云(明和乙酉は2年(1765)、天明乙巳は5年(1785))と識語あり。「大岡蔵書」印(巻首)。「文礼之印」印(巻首)。前項と連れか。[1-133]
- 331 **論語古義序標註** 半 1冊 虫損 *写本。外題は後補題簽に「論語古義[序/標註]」とあり。資料名は巻首題による。「序標註」の後、「論語古義直解巻一」・「為政第二」と続く。朱点、欄外墨書入あり。「大岡蔵書」印(巻首)。[1-122]

2. 史 部

A 編年類

- 332 **資治通鑑** 司馬光編集、胡三省音註、三島中洲校閱、山名留三郎(善讓)訓點 大 70冊 明治17年(1884)出版 東京/鳳文館本舗、大阪/鳳文館支舗刊 *和装活字本。294巻70冊(第1冊は序・表・目録)。明治15年(1882)三嶋毅(中洲)序、年次不記胡三省序。渡邊安積旧蔵本。「渡邊安積蔵書」印(巻首)。翻刻資治通鑑(序題)、音註資治通鑑(序題)、治平資治通鑑(事略題)。[1-556~625]

B 別史類

- 333 **[標記増補]十八史略** 岩垣龍溪標記、岩垣東園(松苗)再校増補 大 7冊 元治元年(1864)刻成 江戸/岡田屋嘉七郎、大坂/河内屋喜兵衛、京都/出雲寺文次郎、菱屋孫兵衛(印)刊 破 *7巻7冊。天保9年(1838)岩垣松苗序、寛保2年(1742)服部南郭題言、洪武5年(1372)陳殷序。天明元年(1781)藤原正臣跋。「五軒山房」印(巻首)。十八史略(見返題)、史略(序題)、史略音釋(凡例題)、立齋先生十八史略(目録題)、立齋先生標題解註音釋十八史略(巻首題・巻尾題)、立齋先生標題解註釋文十八史略(巻之二巻尾題)、新刊校正立齋先生標題註解十八史略(巻之

七巻尾題)、再刻補正十八史略(跋題)、大夫岩垣龍溪先生標記音博士東園先生再校十八史略(柱題)。
〔1-497~503〕

334 **〔標記増補〕十八史略** 岩垣龍溪標記、岩垣東園(松苗)再校増補 大 7冊 元治元年(1864)四刻 江戸/岡田屋嘉七、大坂/河内屋喜兵衛、京都/出雲寺文治郎、菱屋孫兵衛(印)刊 * 7巻7冊。見返題に「元治元年甲子再刻」「皇都 松柏堂/五車楼梓」とあり。天保9年(1838)岩垣松苗序、寛保2年(1742)服部南郭題言、洪武5年(1372)陳殷序。天明元年(1781)藤原正臣跋。十八史略(見返題)、史略(序題)、史略音釋(凡例題)、立齋先生十八史略(目録題)、立齋先生標題解註音釋十八史略(巻首題・巻尾題)、立齋先生標題解註釋文十八史略(巻之二巻尾題・巻之七巻首題)、新刊校正立齋先生標題註解十八史略(巻之七巻尾題)、再刻補正十八史略(跋題)、大夫岩垣龍溪先生標記音博士東園先生再校十八史略(柱題)。〔1-761~767〕

335 **〔標記増補〕十八史畧** 岩垣龍溪標記、岩垣東園(松苗)再校増補 中 6冊 明治13年(1880)十刻再板発兌 京都/出雲寺文治郎、川端藤兵衛刊 * 7巻7冊のうち第2冊欠。第1冊は題簽剥落につき外題欠。見返題に「皇都 出雲寺梓」とあり。天保9年(1838)岩垣松苗序、寛保2年(1742)服部南郭題言、洪武5年(1372)陳殷序。天明元年(1781)藤原正臣跋。「山口縣周防国大島郡東屋代小学印」印(巻首)。十八史略(見返題)、史略(序題)、史略音釋(凡例題)、立齋先生十八史略(目録題)、立齋先生標題解註音釋十八史略(巻首題・巻尾題)、立齋先生標題解註釋文十八史略(巻之七巻首題)、立齋先生標題註解十八史略(巻之七巻尾題)、再刻補正十八史略(跋題)、標記増補十八史略(柱題)。〔1-755~760〕

336 **〔評記増補〕十八史略** 王逢點校 大 1冊 * 巻之六1冊のみ存。「前原蔵書」印(巻首)。立齋先生標題解註音釋十八史略(巻首題・巻尾題)、大夫岩垣龍溪先生標記音博士東園先生再校十八史略(柱題)。〔1-356〕

337 **〔鼈頭挿画〕十八史略纂語字類大全** 久留間瑛三著 中 3冊 明治18年(1885)出板 大阪/此村彦助、此村庄助刊 * 上・下2巻2冊と系図・地図等1冊から成る。明治17年(1884)柳澤温軒序。「長重蔵書」印(巻首)。鼈頭挿画十八史略纂語字類大全(見返題)、十八史略纂語字類大全(序題)、〔鼈頭挿画〕十八史略字類大全(柱題)。〔1-459~461〕

338 **〔新纂挿画〕十八史略字引大全** 河村與一郎編輯 中 2冊 明治24年(1891)三版 大阪・岡本仙助 * 銅版。中・下の2冊存。明治16年(1883)出版本の三版。〔1-214~215〕

339 **〔新纂挿画〕十八史略沿革概図 附 歴代帝王系図/沿革色分地図** 河村與一郎編輯 中 1冊 * 刊記なし。後見返に「此主/多谷本保太郎」と墨書。前項の連れ。〔新挿画〕十八史略字引大全附巻(巻首題・巻尾題)、十八史略沿革図(扉題)。〔1-216〕

340 **十八史略講義** 岡野英太郎(竹堂)訳述 中 1冊 大正2年(1913)第二十版 東京/尚栄堂小川寅松 * 洋装活字本。洋紙。上巻(巻之一~三)1冊のみ存。明治30年(1897)初版。巻尾に「京都府立第一中学校/第三年級/土倉正治」と墨書。〔1-482〕

C 職官類

341 **唐六典** 半 7冊 天明8年(1788)写 樋口公瑛(東里)写 虫損 * 写本。20巻7冊揃。巻第一~三、巻第四~六、巻第七~十、巻第十一~十四、巻第十五~二十、巻第二十一~二十五、

卷第二十六～三十の7冊。正徳10年(1515)王鏊序。奥書に「右唐六典三十卷為男文禮膳写天明六年丙午秋九月始業至同八年夏五月終元本文字脱誤甚多他日當就正本改正焉／公瑛書(「公瑛之印」印)」とあり。朱点・朱字訂正あり。「大岡蔵書」印(巻首)。重刊唐六典(序題)、大唐六典(巻首題)。(1-79～81, 123～126)

D 政書類

- 342 **唐律疏議** 大 9冊 *30巻10冊のうち第7冊(巻二十三～二十五)欠。刊記なし。泰定4年(1327)柳賛序、泰定2年(1325)劉有慶序。柱刻に「三畏軒蔵」とあり。「大岡蔵書」印(巻首)。新刊故唐律疏議(序題)、故唐律(目録題)、故唐律疏議(巻首題・巻尾題)。次項と連れ。(1-107～114, 134)
- 343 **唐律釈文** 王元亮長卿重編 大 1冊 皴・汚 *写本。30巻1冊。年次不記無署名序。「大岡蔵書」印(巻首)。前項と連れ。(1-127)

3. 子 部

A 儒家類

- 344 **忠経集註** 馬融撰、鄭玄註、余昌年訂、宇都宮遯庵註解 大 1冊 虫損 *写本。版本の写し。宣徳6年(1431)韓陽序。年次不記馬融序。元禄2年(1689)宇都宮遯庵跋。奥書に「文政二載己卯仲春寫之(3字抹消)蔵書」(文政2年は1819年)とあり。剥落題簽あり。「修古堂蔵書記」印(題簽・前見返・巻首・後見返)。「大岡蔵書」印(巻首)。(1-24)
- 345 **〔国読刪正〕小学 内編** 陳選句読、中井竹山雕題 大 4冊 嘉永3年(1850)刊 大阪／加賀屋善蔵、河内屋吉兵衛(印)刊 *元 [1-34]・享 [1-349]・利 [1-351]・亭 [1-350] の順。元は巻之一・二、享は巻之三・四(以上内篇)、利は巻之五、亭は巻之六(以上外篇)。後見返に「前原氏」と墨書。「前原蔵書」印(巻首・第一冊後見返)。(1-348～351)
- 346 **小学句読** 陳選句読 大 1冊 安政2年(1855)再刻 大阪／柳原喜兵衛、前川源七郎合梓 *6巻2冊。序・題辭・内篇(巻之一～四)、外篇(巻之五～六)の2冊。第1冊は題簽剥落につき外題欠。第2冊は題簽上部欠損、題簽下部に「外篇／再板」とあり。刊記の後に「諸国弘通書肆」として「東京 北畠茂兵衛」～「大阪本町四丁目 岡島真七」まで16書肆名列記。「防州／由宇／奥甚」墨印(前見返・巻尾・後見返)。小学(題辭題・巻首題・巻尾題)。(1-682～683)
- 347 **小学句読 内篇** 中村揚斎點、陳選句読 大 1冊 虫損 *序・巻之一～二の1冊のみ存。見返題に「揚斎仲先生定本」とあり。柱刻に「揚斎點」とあり。見返題に「摂坂書林菅生堂伴勝昌」による点者紹介あり。〔定註〕小学句読(見返題)、小学(題辭題・巻首題・巻尾題・柱題)。(1-185)
- 348 **〔朱子定本〕小学句読** 後藤松陰訓点 大 2冊 虫損 *内篇(巻之三・四)・外篇(巻之五)の2冊存。各冊前見返に「樋口」、巻之三・四後見返に「錦見江臨寺谷／樋口氏」、巻之五後見返に「光連寺谷樋口」と墨書。「大岡蔵書」印(巻首)。「樋口」印(巻首)。(1-142～143)
- 349 **〔朱子定本〕小学句讀 外篇** 後藤松陰訓点 大 1冊 明治16年(1883)刻成 大阪／塩冶芳兵衛出版、大村安兵衛・松村九兵衛発兌 虫損・疲 *巻六1冊のみ存。柱刻に「日新館出版」と

あり。小学句読（巻首題・巻尾題・柱題）。[1-195]

350 **〔王陽明〕伝習録講本** 山田齋齋輯 半 1冊 昭和7年(1932)四版発行 東京／二松學舎出版部 *和装活字本。洋紙。袋綴ではない。昭和2年(1927)初版発行。「星出蔵書」印(扉)。[1-91]

B 医家類

351 **〔大字〕大成論** 孫允賢撰 大 1冊 京都／出雲寺和泉掾 *年次不記無記名序、至治元年(1321)王元福序。巻尾に「醫方大成字點已漫漶新校訂」とあり。前見返に「貞田某」と墨書。南北経験医方大成(序題)、重刊医方大成論(目録題)、医方大成論(巻首題・巻尾題・柱題)。[1-633]

352 **内科新説 本草附** 合信(英)著、管茂材(清)撰 大 1冊 虫損 *写本。仮綴。3巻3冊のうち第3冊のみ存。外題に「巻三」、巻首題に「巻下」とあり。内科新説(巻首題・巻尾題)。[1-753]

C 芸術類

353 **篆法撮要** 歸周撰、法安公 大 1冊 虫損 *写本。「大岡蔵書」印(表紙)。[1-82]

D 雑家類

354 **箋註蒙求 再版** 岡白駒箋註 大 1冊 *上1冊のみ存。前見返に「錦見蘭若蔵」と墨書。朱引あり。前見返・巻首に印記数首あり。蒙求箋註(例引題)、標題徐状元補註蒙求(巻首題)、徐状元補註蒙求(巻尾題)。[1-357]

355 **箋註蒙求** 大 1冊 疲・虫損 *写本。巻上のみ存。厚紙で後補された外表紙に外題は直書。元前表紙・第1丁表欠。巻尾に「樋口」と墨書。仮綴。「大岡蔵書」印(巻首)。標題徐状元補註蒙求(巻首題)、徐状元補註蒙求(巻尾題)。次項と連れか。[1-213]

356 **補註蒙求** 岡白駒箋註 大 1冊 寛政4年(1792)再刊 京都／出雲寺和泉掾・風月庄左衛門・今井七郎兵衛・勝村治右衛門・植村藤右衛門・並河善六・赤井亦七・浅井庄右衛門・森嶋吉兵衛刊 虫損・汚 *巻下1冊のみ存。外題は後補題簽に直書。刊記面に「樋口」と墨書。「遜」印(前見返)。「忠朴印」印(前見返)。「大岡蔵書」印(巻首)。標題徐状元補註蒙求(巻首題)、徐状元補註蒙求(巻尾題)、箋註蒙求(柱題)。前項と連れか。[1-131]

357 **〔標疏〕箋註蒙求校本** 岡白駒箋註、佐々木玷(向陽)標疏 大 2冊 安政5年(1858)四刻浸 *上・下2巻2冊。上冊は後補題簽に外題直書。見返題に「京阪書林 九書堂原刻」とあり。巻末に京都・神先向松堂の出版目録あり。明和4年(1767)原刻本の四刻。上冊後見返に「明治紀元戊辰季冬求焉／周東熊毛三丘 久行氏蔵書(「久行蔵書」印)」(明治紀元戊辰は元年〈1868〉)と墨書。下冊前見返に「明治紀元戊辰晩冬求焉／周東熊毛三丘 久行氏蔵書／此本(「久行蔵書」印)」(明治紀元は元年〈1868〉)と墨書。「久行蔵書」印(巻首・巻尾)。箋註蒙求校本(見返題)、標題徐状元補註蒙求校本(巻首題)、徐状元補註蒙求(巻下巻尾題)、標疏箋註蒙求校本(柱題)。[1-228~229]

358 **箋註蒙求校本** 岡白駒箋註、佐々木向陽標疏 中 3冊 明治16年(1883)刻成 大阪／岡島真七刊 *上・中・下3巻3冊。見返題に「浪華書肆 岡島宝玉堂蔵」とあり。「小笠原之章」印(表

紙・前見返・巻首・巻尾・後見返)。「大岡蔵書」印(表紙)[1-173~175]

E 類書類

- 359 **韻府一隅** 顔麓莊輯、朱翠峯・華安愚同輯 中 2冊 文化11年(1814)翻刻 養賢堂刊 *乾(巻一~八)・坤(巻九~十六)の16巻2冊。刊記なし。嘉慶8年(1803)新鑄。薄様。「山縣」印(巻首)。「東北園俱樂部之印章」印(巻首)。[1-471~472]

F 道家類

- 360 **[校訂] 莊子正文** 半 1冊 昭和8年(1933)刊 金沢/池善書店刊 *和装活字本。薄い和紙使用。「観文堂叢書」のうち。見返題に「大正七年四月新刊」「観文堂」、柱刻に「観文堂蔵版」とあり。大正7年(1918)初版発行、大正13年(1924)改定版発行。「星出蔵書」印(前見返)。[1-90]

4. 集 部

A 別集類

- 361 **陶淵明集** 近藤元粹評定 小 2冊 明治27年(1894)再版発行 大阪/青木嵩山堂刊 *和装活字本。帙入り。天(巻之一~三)、下(巻四~八)の8巻2冊。康熙綴。「長重蔵書」印(帙裏・巻首)。[1-455~456]
- 362 **孫可之文集** 孫樵(可之)著 大 1冊 朝枝毅斉写 虫損 *写本。10巻1冊。正徳12年(1517)王鏊序。巻尾に延享4年(1747)7月の樋口奚の奥書あり。[1-18]

B 総集類

- 363 **唐詩品彙** 半 1冊 浸・虫損 *写本。漢詩集。『唐詩品彙』の抜書か。[1-36]
- 364 **唐人萬首絶句選** 漁洋山人王阮亭選 中 1冊 民国7年(1918)刊 上海/掃葉山房刊 *唐本。石版。4巻1冊。帙入り([1-147]・[1-161]と同帙)。康熙47年(1708)漁洋老人王士禛序。柱刻に「掃葉山房石印」とあり。薄様。「長重蔵書」印(扉題)。萬首絶句選(柱題)[1-119]
- 365 **精校宋元明詩** 冷昌言諫庵・朱梓梅谿編輯、冷鵬笑渠參校 中 2冊 民国4年(1915)刊 上海/千頃堂書局印行 *唐本。石版。薄様。帙入り([1-119]・[1-147]と同帙)。巻上・下2冊([1-161]が上、[1-147]が下)。下は題簽欠、外題なし。道光21年(1841)笑渠冷鵬序、同年梅谿朱梓書札。「長重蔵書」印(上扉題・下巻首)。宋元明詩(扉題・柱題)、宋元明詩約鈔(書札題)、宋元明詩約鈔三百首(目錄題・巻首題)。[1-161, 147]
- 366 **標注文選正文** 昭明太子蕭統編、原田由己校正 大 1冊 *序・目錄の1冊のみ存。柱刻に「水野氏蔵版」とあり。巻首に未判読蔵書印2種あり。校正標注文選正文(見返題)、文選(序題)、標注文選(目錄題)、校正標記文選正文(柱題)。[1-553]
- 367 **古文真宝** 大 2冊 延宝8年(1680)刊 山本長兵衛刊行 虫損 *巻之一~三、巻之七~十の2冊存。後見返に「七冊の内 主桂六左衛門」と墨書。朱・青・黒字の書入あり。桂六左衛門

- は樋口東里の実父。「大岡蔵書」印（巻首）。古文後集（扉題）、諸儒箋解古文真宝後集（目録題）、魁本大字諸儒箋解古文真宝卷一後集（巻首題・巻尾題）〔1-48～49〕
- 368 **【新板校正】古文真宝** 大 2冊 貞享4年（1687）刊 江戸／須原茂兵衛刊行 疲・少虫
 ＊乾・坤2冊。至正26年（1366）鄭本土文序、弘治15年（1502）青藜斎序。乾冊前見返に「蔵廻熊治郎」、後見返に「宝暦十四甲申年」（宝暦14年は1764年）「蔵廻氏」「蔵廻性」「廣則什物」、坤冊前見返に「嘉永七年甲寅閏七月日求之」（嘉永7年は1854年）、後見返に「嘉永七年寅／十月廿六日」「千石原／蔵廻氏」等と墨書。諸儒箋解古文真寶後集（目録題）、魁本大字諸儒箋解古文真寶（巻首題・巻尾題）。〔1-325～326〕
- 369 **【新改大字】古文真宝** 黄堅編 半 1冊 宝暦9年（1759）求板 京都／梅村三郎兵衛板 疲
 ＊後集。乾（叙・跋・目録・巻之一）・坤（巻之下）の2巻2冊。至正26年（1366）鄭本土叙。弘治15年（1502）青藜斎跋。朱字書入あり。諸儒箋解古文真宝後集（目録題）、魁本大字諸儒箋解古文真宝（巻首題・巻尾題）。〔1-684〕
- 370 **文章軌範** 謝枋得編次、松岡彦二評註 袖珍本 1冊 大阪／田中宋榮堂蔵版 ＊銅版。巻之一1冊のみ存。年次不記松岡彦二序。朱筆行間・欄外書入あり。「熊谷氏」印（前遊紙）。文章軌範評本（扉題・凡例題・柱題）。〔1-301〕
- 371 **【増註補訂】続文章軌範** 鄒守益批選、焦竑評閱、李延機訓註、源暉辰（松井羅洲）校訂 大 2冊 江戸／須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、須原屋新兵衛、岡田屋嘉七、和泉屋吉兵衛、須原屋伊八、出雲寺萬治郎、紙屋徳八、名古屋菱屋久八、大坂／河内屋源七郎板 虫損・破 ＊三・四、五・六・七の2冊存。刊記の前に「浪華書林前川文榮堂蔵版書目」（大阪／河内屋源七郎）2丁あり。柱刻に「耕読園句読」とあり。増纂評註文章軌範続編（巻首題）、文章軌範続集（巻尾題）、続文章軌範（柱題）。〔1-554～555〕
- 372 **評註正文文章軌範** 謝枋得編次、五十川左武郎編輯 中 3冊 明治20年（1887）再刻出版
 ＊7巻3冊（上：一～二、中：三～四、下：五～七）。第1冊のみ後補題簽に外題直書。正徳元年（1506年）王守仁序。明治13年（1880年）五十川左武郎凡例。明治14年（1881）初版本の再刻。評註文章軌範（巻首題・巻尾題・柱題）。〔1-221～223〕
- 373 **評註続文章軌範** 益謙之編次、五十川左武郎編輯 中 2冊 明治15年（1882）出版 大阪／此村庄助・中川勘助・森本太助・梅原亀七・岡島真七刊 ＊7巻3冊のうち4～7巻の2冊存。〔1-224, 226〕
- 374 **【評本】正文文章軌範** 頼山陽講義、牧百峰増補、中村鄭鼎五自邸編纂 半 3冊 明治27年（1894）発行 大阪／田中太右衛門 ＊明治11年（1878）亀谷省軒序、同年中村鼎五序。評本文章軌範（目録題・巻首題・巻尾題・柱題）。〔1-449～451〕
- 375 **【鼈頭集解】〔正統〕文章軌範字引大全** 関徳校閲、桜井茂衛編纂 中 4冊 明治14年（1881）刻成出版 大阪／吉岡平助出版、同／小谷卯兵衛・北村孝二郎発兌 浸 ＊正・続各2巻2冊。資料名は見返題による。明治14年（1881）編者凡例。柱刻に「吉岡氏蔵版」とあり。〔鼈頭集解〕正文文章軌範字引大全・〔鼈頭集解〕続文章軌範字引大全（外題）、正文文章軌範字引大全・続文章軌範字引大全（巻首題・巻尾題・柱題）。〔1-217～220〕
- 376 **増評八大家文読本** 沈徳潜編、頼山陽増評 大 16冊 安政2年（1855）新鐫 江戸／和泉屋

金右衛門刊 *30卷16冊(巻一、六を除き各2巻1冊)。乾隆15年(1750)沈徳潜序。安政2年(1855)高斎精一附言。年次不記頼山陽跋。墨・朱の欄外・行間書入あり。「森石華図書章」印(巻首)。(1-537~552)

377 **題画詩類** 翰林院編修、陳邦彦奉勅 横 1冊 *第三函1冊のみ存。「沼田文庫」印(巻首)。康熙御定歴代題画詩類(巻首題)。(1-302)

【付記】本目録の作成は、日本学術振興会科学研究費補助金、基盤研究(C)(一般)「岩国市に伝存する和漢古典籍の分類総合目録作成に関する研究」(令和3年度~5年度、課題番号21K00283)による研究成果の一部です。閲覧調査を御許可下さり、格別の御配慮を賜った岩国市教育委員会ならびに岩国学校教育資料館スタッフの方々に厚く御礼申し上げます。また、書誌情報の入力から原稿の作成まで、研究補助者として広島大学大学院文学研究科博士課程後期の北原沙友里氏の協力を得ました。併せて感謝いたします。